

【令和7年度版】

第2期
大分県スポーツ推進計画
～チャレンジ！おおいたスポーツプラン2021～
進捗状況

大分県教育委員会

目次

1	『第2期大分県スポーツ推進計画』 具体的取組に係る担当課一覧	1
2	目標指標の達成状況	3
3	項目別テーマ進行管理表	
基本目標Ⅰ 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成		
1	ライフステージに応じたスポーツの推進	
(1)	幼児期・少年期におけるスポーツの推進	5
(2)	青年・壮年期におけるスポーツの推進	7
(3)	高齢期におけるスポーツの推進	9
(4)	ライフステージに応じたスポーツイベントの推進	11
2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進	
(1)	障がい者スポーツの推進	13
(2)	女性のスポーツ活動の推進	15
3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用	
(1)	総合型地域スポーツクラブの推進	17
基本目標Ⅱ 県民スポーツを支える環境づくりの推進		
1	「みる」「ささえる」スポーツの充実	
(1)	「みる」「ささえる」スポーツの推進	19
(2)	スポーツボランティア活動の推進	21
2	スポーツ活動の場の充実	
(1)	地域の特性を活かした活動の場の充実	23
(2)	学校体育施設の充実と有効活用	25
(3)	スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備	26
3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実	
(1)	スポーツ情報の収集と提供	28
(2)	行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実	30
(3)	企業におけるスポーツ活動の推進	32
(4)	スポーツに関する顕彰制度の充実	34
基本目標Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成		
(1)	競技力向上のための組織の整備・充実	35
(2)	競技力向上に向けた指導体制の充実・強化	36
(3)	競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進	38
(4)	競技力向上に必要な諸条件の整備	40
基本目標Ⅳ スポーツによる地域の元気づくり		
(1)	国際スポーツ大会等の誘致	42
(2)	スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進	43
(3)	ラグビーワールドカップ2109のレガシー継承	44

1 『第2期大分県スポーツ推進計画』具体的な取組に係る担当課一覧

基本目標	分野別施策	項目別テーマ	具体的な取組	企画	福祉保健	教育	体育保健課内						
				スポーツ振興課	県民健康増進課	高齢者福祉課	障害者社会参加推進室	教育財務課	義務教育課	体育保健課	管理予算班	学校保健・食育班	学校体育班
I 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成													
1 ライフステージに応じたスポーツの推進													
(1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進													
			①幼児期からの子どもの体力向上方策の推進					◎	◎		●		
			②学校における体育授業等の充実						◎		●		
			③スポーツ環境の整備・充実						◎		●		
			④スポーツ少年団等における指導環境の充実						◎		●		●
			⑤スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進						◎		●	●	
			⑥食育の充実						◎		●		
(2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進													
			①職場におけるスポーツ活動の推進		◎				◎		●		
			②地域におけるスポーツ活動の推進		◎				◎		●		
			③これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進		◎				◎		●		
			④関係団体と連携したスポーツ環境の整備・充実		◎				◎		●		
(3) 高齢期におけるスポーツの推進													
			①地域における高齢者の健康・体力づくりの推進		◎				◎		●		
			②指導者の養成とプログラムの普及		◎				◎		●		
			③これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進		◎				◎		●		
			④健康・体力づくりなどの情報提供		◎	◎			◎		●		
(4) ライフステージに応じたスポーツイベントの推進													
			①少年期のスポーツイベントの充実			◎			◎		●		●
			②青・壮年期のスポーツイベントの充実		◎	◎			◎		●		
			③高齢期のスポーツイベントの充実			◎	◎		◎		●		
2 誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進													
(1) 障がい者スポーツの推進													
			①障がい者のスポーツ機会の拡充			◎			◎		●		
			②障がい者スポーツの環境整備			◎			◎		●		
			③障がい者スポーツの競技力向上			◎							
			④障がい者スポーツの優秀選手支援			◎							
(2) 女性のスポーツ活動の推進													
			①女性がスポーツを楽しむための環境の整備						◎		●		
			②スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援						◎		●		●
			③女性指導者の積極的な育成			◎			◎		●	●	●
3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用													
(1) 総合型地域スポーツクラブの推進													
			①中間支援組織による総合型クラブの質的充実支援						◎		●		●
			②市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大						◎		●		●
			③総合型クラブおおいネットワークとの連携						◎		●		●
			④総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応に向けた支援						◎		●		●
			⑤地域の健康づくり拠点化の推進						◎		●		●
			⑥「新しい公共」を担う総合型クラブの育成						◎		●		●
II 県民スポーツを支える環境づくりの推進													
1 「みる」「ささえる」スポーツの充実													
(1) 「みる」「ささえる」スポーツの推進													
			①世界・国内トップレベルのスポーツ大会の誘致と観戦促進	◎					◎		●		
			②子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供	◎					◎		●		
			③大会を支える審判員等の専門スタッフの育成						◎		●		
			④プロスポーツの推進	◎									
(2) スポーツボランティア活動の推進													
			①スポーツボランティアの啓発	◎		◎			◎		●		
			②スポーツボランティアの発掘と育成	◎		◎			◎		●		
			③スポーツボランティアの活用	◎		◎			◎		●		

1 『第2期大分県スポーツ推進計画』具体的な取組に係る担当課一覧

基本目標	分野別施策	項目別テーマ	具体的な取組	企画	福祉保健	教育	体育保健課内									
				スポーツ振興課	県民健康増進課	高齢者福祉課	障害者社会参加推進室	教育財務課	義務教育課	体育保健課	管理予算班	学校保健・食育班	学校体育班	生涯スポーツ班	競技力向上対策班	県スポーツ協会
2 スポーツ活動の場の充実																
(1) 地域の特性を活かした活動の場の充実																
			①豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備	◎				◎					●			
			②身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備	◎				◎					●			
			③天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供	◎				◎					●			
(2) 学校体育施設の充実と有効活用																
			①学校体育施設・設備の整備・充実				◎									
			②学校体育施設開放事業の促進						◎				●			
(3) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備																
			①県立スポーツ施設の維持・整備						◎	●			●			
			②スポーツ環境を充実させるための施設運営						◎	●			●			
			③支援体制の整備に向けた検討		◎	◎	◎		◎	●			●	●	●	●
3 スポーツを支える組織や体制、仕組の充実																
(1) スポーツ情報の収集と提供																
			①スポーツ情報システムの構築	◎	◎	◎	◎		◎				●			●
			②報道機関と連携した情報提供の充実	◎	◎	◎	◎		◎				●			●
(2) 行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実																
			①スポーツ推進体制の整備						◎				●			
			②スポーツ関係団体におけるガバナンス向上の取組の推進				◎		◎				●	●	●	●
			③スポーツ関係団体の整備・充実				◎		◎				●	●	●	●
			④関係機関・団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保				◎		◎				●	●	●	●
			⑤研究機関・医療機関・大学との連携				◎		◎				●			
(3) 企業におけるスポーツ活動の推進																
			①スポーツの推進に向けた企業との連携・協力				◎		◎				●	●	●	●
			②地域貢献活動の推進		◎		◎		◎				●	●		
(4) スポーツに関する顕彰制度の充実																
			①顕彰制度の充実				◎		◎				●	●	●	●
Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成																
(1) 競技力向上のための組織の整備・充実																
			①競技団体や学校体育団体等の活性化						◎				●			●
			②年代や競技の枠を越えた連携体制の整備						◎				●			●
(2) 競技力向上に向けた指導體制の充実・強化																
			①公認スポーツ指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上						◎				●			●
			②強化拠点となる学校への適切な指導者の配置						◎				●			●
			③競技者から指導者への好循環サイクルの構築						◎				●			●
(3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進																
			①ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大						◎				●			●
			②関係団体と連携した一貫指導體制の構築						◎				●			●
			③関係団体と連携した強化事業の充実						◎				●			●
(4) 競技力向上に必要な諸条件の整備																
			①スポーツ医学の知見等を活用した支援体制の整備						◎				●			●
			②アスリートが継続的に活動できる就職支援						◎				●			●
			③広報活動の推進						◎				●			●
Ⅳ スポーツによる地域の元気づくり																
(1) 国際スポーツ大会等の誘致																
			①大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致	◎												
			②国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ	◎												
			③キャンプ受入国との継続的な交流の推進	◎												
(2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進																
			①国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出	◎												
			②市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大	◎												
			③まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現	◎												
			④スポーツツーリズムの推進	◎												
(3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承																
			①ラグビー文化の定着	◎												
			②大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進	◎												
			③世界トップクラスの国際試合等の誘致	◎												

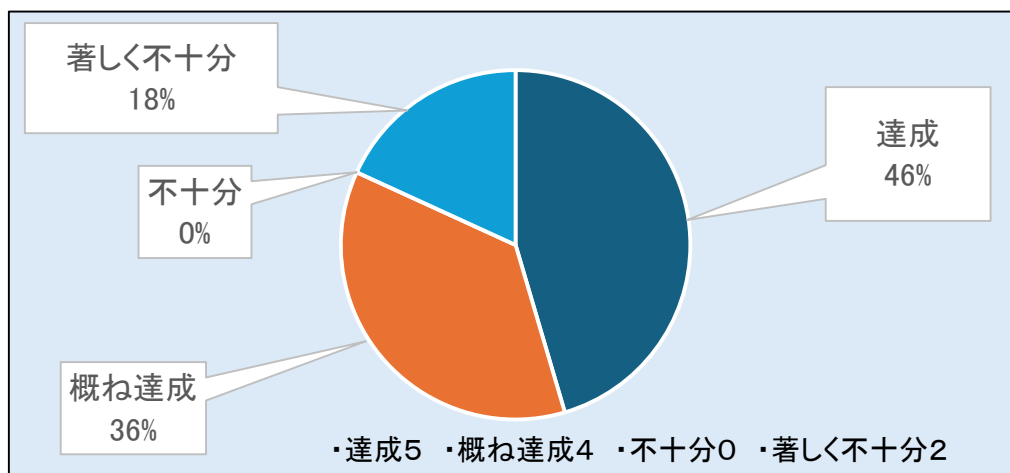
2 目標指標の達成状況

(1) 指標の達成率の評価基準

各指標の達成率は、以下の基準で評価する。

達成率	評価
① 100%	◎：達成
② 90%以上、100%未満	○：概ね達成
③ 80%以上、90%未満	△：不十分
④ 80%未満	×：著しく不十分

(2) 全体的な達成状況



(3) 全テーマ別指標の達成状況 (令和7年度分)

【基本目標 I】生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

内容	評価	目標値	実績値	達成率
① 小5男子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	83.0%	77.4%	93.3%
② 小5女子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	87.0%	80.7%	92.8%
③ 中2男子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	82.0%	79.8%	97.3%
④ 中2女子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	92.0%	84.6%	92.0%
⑤ 20代から50代の定期的なスポーツ実施率	◎	57.5%	58.5%	101.7%
⑥ 60代以上の定期的なスポーツ実施率	◎	57.5%	65.7%	114.3%
⑦ 総合型クラブの会員数	×	20,400人	13,042人	63.9%

【基本目標Ⅱ】県民スポーツを支える環境づくりの推進

内 容	評価	目標値	実績値	達成率
⑧ 県立武道スポーツセンター 利用者満足度調査における 「大変良い」「良い」の割合	◎	83.0%	83.2%	100.2%

【基本目標Ⅲ】世界に羽ばたく選手の育成

内 容	評価	目標値	実績値	達成率
⑨ 人口1万人当たりの公認 指導者数	◎	23.6人	34.6人	146.6%
⑩ 国際大会出場者数	◎	60人	71人	118.3%

【基本目標Ⅳ】スポーツによる地域の元気づくり

内 容	評価	目標値	実績値	達成率
⑪ 合宿等受入数	×	90,000人	68,762人 ※R6実績	76.4% ※参考

※現在集計中（4月集計）のため参考数値

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	義務教育課 / 体育保健課 / 県スポーツ協会
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(1)	幼児期・少年期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進	④ スポーツ少年団等における指導環境の充実		
	② 学校における体育授業等の充実	⑤ スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進		
	③ スポーツ環境の整備・充実	⑥ 食育の充実		
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 低学年を対象とした公開授業や授業研究会の開催	④ 地域人材(指導者等)の人材確保		
	② 運動の苦手な児童生徒に視点をあてた授業の工夫改善	⑤ 各学校における1校1実践の取組充実		
	③ 公立中学校の部活動地域移行の推進	⑥ モデル校における食育を中心とした取組の県内全体への周知・共有不足。		
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 体力アップおおい推進事業	183	④ スポーツ少年団指導者・スタッフ研修会	259
	② 体力アップおおい推進事業	183	⑤ 体力アップおおい推進事業	183
	③ 学校部活動改革サポート事業	150,485	⑥ おおいスクールヘルスケア事業	1,999
	④ 学校部活動改革サポート事業	150,485		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 小学校低学年を対象とした公開授業や授業研究会の開催により、好事例の共有を図り、授業の充実に向けた取組みを進めた。</p>	義務教育課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 小学校体育専科教員等の活用により、県内全域の教員の授業力向上を図るとともに、「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりに向け、運動の苦手な児童生徒に視点をあてた工夫改善、学校全体で組織的に行う「1校1実践」等に取り組んだ。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 市町村担当者会議や県部活動地域展開フォーラム開催、有識者の市町村伴走支援等により、市町村の進捗状況や課題把握やその解決に向けた指導助言を行った。指導者人材バンク(WEBSITE)を活用し、県内全域における指導者確保に取組んでいる。国庫事業(豊後大野市、竹田市、由布市、国東市、豊後高田市、杵築市)や県補助事業(大分市、日田市、日出町、佐伯市)を活用し、休日の展開に向けた取組みが進められている。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 指導者人材バンク(クラサポ)大分を活用し、指導者だけでなく、医療関係者や見守り支援等、地域人材の登録促進を図った。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 重点的取組として、令和6年度に引き続き「誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる環境」づくりに向け、「NO! スポハラ」活動を推進した。7市町で計10回開催されたスポーツ少年団指導者・スタッフ研修会には毎回参加し、啓発活動に努めた。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 各学校において、運動の習慣化・日常化に向け、学校全体で組織的に行う「1校1実践」に取り組んだ。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ モデル校における健康診断結果を踏まえた食に関する指導及び個別支援の継続的な実践と、養護教諭及び栄養教諭が参加する研修における実践事例及び活用した様式の共有。</p>	体育保健課/保健食育

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
児童の体力(総合評価C以上※の割合)小5男子	%	R1	82.4	83.0	77.4	93.3	○概ね達成	R12	83.7	学校体育
児童の体力(総合評価C以上※の割合)小5女子	%	R1	86.9	87.0	80.7	92.8	○概ね達成	R12	87.1	学校体育
生徒の体力(総合評価C以上※の割合)中2男子	%	R1	80.8	82.0	79.8	97.3	○概ね達成	R12	83.4	学校体育
生徒の体力(総合評価C以上※の割合)中2女子	%	R1	91.8	92.0	84.6	92.0	○概ね達成	R12	92.2	学校体育

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○多くの市町村において小学校低学年を対象とした授業研究等により好事例の共有を図り、授業改善に向けた取組が進められた。</p> <p>→引き続き、小学校低学年を対象とした授業の質の向上に向け、各市町村での公開授業や授業研究の実施を働きかけていく。</p>	義務教育課
<p>具体的な取組②</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、本県の児童生徒の体力は高い水準を維持しており、授業に対する満足度も高い傾向にある。一方、低体力層の児童生徒の割合増加傾向や、運動実施時間が減少などの課題もある。</p> <p>→引き続き、体育専科教員や体育担任制専科教員、中学校体育推進教員を中心に、運動の苦手な児童生徒に視点をあてた授業改善による「わかる・できる・楽しい」授業づくりやICTの効果的な活用を通じて、児童生徒の運動意欲を喚起するなどの取組により、運動好きの児童生徒を増やし、運動の習慣化・日常化に向けた取組を推進する。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組③</p> <p>○国庫や県単独事業を活用して、地域の実情に応じた取組が進められているが、大きな課題となっている指導者確保により、地域間で進捗に格差が生じている。</p> <p>→指導者人材バンクの効果的運用により、指導者確保を行い、それぞれの地域の実情に応じた地域展開に向け着実に取組を進める。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組④</p> <p>○重点的取組として、令和6年度に引き続き「誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる環境」づくりに向け、「NO！スポハラ」活動を推進した。7市町で計10回開催されたスポーツ少年団指導者・スタッフ研修会には毎回参加し、啓発活動に努めた。</p> <p>→今後も「No！スポハラ」活動を推進し、不適切指導の根絶を目指す。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○女子における1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合の増加が顕著であり、運動をする児童生徒とそうでない児童生徒の二極化の傾向がつづいている。</p> <p>→各学校において、学校全体で組織的に取り組む1校1実践の工夫改善により、スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけを促進していく。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○全国と比較して肥満傾向児の出現率は依然として高い状況にある。3年間の取組により、モデル校における食育活動や個別支援の有効性は確認できており、その成果や実践内容についても、県内各校での活用やHP等での公開を見据えた整理・共有を進めてきたが、今後は、より広く活用される仕組みとしての定着を図る必要がある。</p> <p>→スクールヘルスケア事業における食育の取組事例や各種様式を整理し、県HP等で公開することで、県内各校で継続的に活用できる仕組みとして定着を図る。</p>	体育保健課/保健食育

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	県民健康増進課 /体育保健課
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(2)	青年・壮年期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 職場におけるスポーツ活動の推進	④ 関係団体と連携したスポーツ環境の整備・充実		
	② 地域におけるスポーツ活動の推進			
	③ これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 働く世代の運動の習慣化	④ 各種職能団体と連携し養成した指導者の派遣		
	② 関係団体と連携した地域指導者の発掘・育成			
	③ 日常的にスポーツに親しめる環境づくり			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① みんなで進める健康づくり事業	94,581	③ 県民スポーツフェスティバル開催事業	11,057
	① 地域のスポーツライフサポート事業	14,789	③ 地域のスポーツライフサポート事業	14,789
	② 地域のスポーツライフサポート事業	14,789	④ 地域のスポーツライフサポート事業	14,789

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○健康経営事業事業所の拡大を図ることで職場ぐるみで体を動かす取組を促進するとともに、今年度からリニューアルした健康アプリ「あるとっく」を活用し、職場対抗で歩数の増加を促す取組を行った。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組①</p> <p>○総合型地域スポーツクラブと地域企業が連携し、子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業の中で様々な教室やイベントを実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○「みんなで伸ばそう健康寿命推進月間」において、地域における健康づくりの取組を推進した。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分県地域スポーツ指導者養成講習会を開催し地域スポーツ指導者養成を行うとともに、認定した指導者をクラサポおおいたへ登録した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○新健康アプリ「あるとっく」を活用し、皆で健康づくりに取り組む気運の醸成を図った。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組③</p> <p>○総合型クラブのイベントや健康体力サポート教室、県民すこやかスポーツ祭等について新健康アプリ「あるとっく」等で周知することで、より身近で手軽にスポーツに親しむ機会を創出した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○「みんなで伸ばそう健康寿命推進月間」を活用し、運動をするきっかけとなるような環境づくりを推進した。また、運動習慣定着に向け、新健康アプリ「あるとっく」のミッション機能を活用してウォーキング協会等各種団体のスポーツイベントの発信を行った。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組④</p> <p>○健康体力サポート教室には、健康運動指導士とともに8箇所17名のヘルスプロモーター認定者を派遣し、中高年層の運動プログラムのサポートを行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
20代から50代の定期的なスポーツ実施率	%	R2	40.1	57.5	58.5	101.7	◎達成	R12	65.0	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p>	<p style="text-align: right;">県民健康増進課</p> <p>○ 令和7年12月末時点での登録健康経営事業所は2,665所あり、登録拡大を図るとともに、新健康アプリ「あるとつく」を活用した職場対抗戦の参加者数の更なる増加が課題。</p> <p>→ 健康経営事業所と連携し、新健康アプリ「あるとつく」の利用者拡大を図るとともに、アプリの機能を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。</p>
<p>具体的な取組①</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p>	<p>○ 働く世代が運動に親しむために、総合型クラブと地域企業が連携し、スポーツ機会を創出するとともに、生涯スポーツ協会の派遣事業や健康体力サポート教室等の実施に向けた情報発信をしていくことが必要。</p> <p>→ 総合型クラブが行う教室やスポーツイベント、健康体力サポート教室についてクラブ連絡会で情報共有するとともに、県のホームページや新健康アプリ「あるとつく」を活用し広報する。</p>
<p>具体的な取組②</p>	<p>県民健康増進課</p>
<p>具体的な取組③</p>	<p>○ 「みんなで伸ばそう健康寿命推進月間」において、地域における健康づくりの取組推進を図る。また、新健康アプリ「あるとつく」の利用者拡大が重要</p> <p>→ 無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるよう新健康アプリ「あるとつく」の機能充実を図る。</p>
<p>具体的な取組③</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組④</p>	<p>○ 地域のスポーツ指導者を養成するため、地域スポーツ指導者養成講習会(県教委認定)を実施し、令和7年度は51名を認定したが、次年度以降の指導者の活用方法に工夫が必要である。</p> <p>→ 認定した指導者をクラサポおおいに登録し、各市町村や総合型地域スポーツクラブでの活用に向けて県ホームページなどで周知を図る。</p>
<p>具体的な取組④</p>	<p>県民健康増進課</p>
<p>具体的な取組⑤</p>	<p>○ 新健康アプリ「あるとつく」を活用し、みんなで健康づくりに取り組む気運の醸成を図る。</p> <p>→ 無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるよう新健康アプリ「あるとつく」の機能充実を図る。</p>
<p>具体的な取組⑤</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑥</p>	<p>○ 大分県内の総合型クラブで実施しているスポーツイベントや県民すこやかスポーツ祭の実施種目を充実させ、より多くの地域住民が参加できる運動機会の創出が必要。</p> <p>→ 総合型クラブで実施しているスポーツイベントや健康体力サポート教室、県民すこやかスポーツ祭について県ホームページで情報発信を図る。</p>
<p>具体的な取組⑥</p>	<p>県民健康増進課</p>
<p>具体的な取組⑦</p>	<p>○ 「みんなで伸ばそう健康寿命推進月間」を含む9～11月に健康寿命日本一おおい推進フォーラムの開催や、街頭キャンペーンを実施するなど、各種団体、企業とともに健康づくり運動に取り組む気運醸成の継続。</p> <p>→ 団体、グループで無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるよう新健康アプリ「あるとつく」の利用者拡大を図る。また、健康経営事業所と連携し「あるとつく」を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。また、推進月間を含む3ヵ月間での取組を継続して、関係団体への働きかけを強化する。</p>
<p>具体的な取組⑦</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑧</p>	<p>○ 令和7年度は、養成したヘルスプロモーターの中から17名を総合型クラブの健康体力サポート教室に派遣した。</p> <p>→ 今後も、ヘルスプロモーターを総合型クラブや市町村で実施する健康体力サポート教室等に派遣できるようにする。</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	県民健康増進課 /高齢者福祉課 /体育保健課
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(3)	高齢期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 地域における高齢者の健康・体づくりの推進	④ 健康・体づくりなどの情報提供		
	② 指導者の養成とプログラムの普及			
	③ これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 通いの場の拡大・充実	④ 関係機関・団体との連携による効果的な情報発信		
	② 指導者の活動する場の拡大			
	③ 高齢者の意識醸成を図る			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 明るい長寿社会づくり推進事業 高齢者相互支援啓発事業	8,382 2,000	③ 地域介護予防活動推進事業 介護予防推進事業	6,069 1,911
	① 県民スポーツフェスティバル開催事業	11,057	③ 地域のスポーツライフサポート事業	14,789
	① 地域のスポーツライフサポート事業	14,789	④ 地域介護予防活動推進事業 介護予防推進事業	6,069 1,911
	② 地域のスポーツライフサポート事業	14,789	④ 地域のスポーツライフサポート事業	14,789

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 大分県社会福祉協議会、市町村及び競技団体と連携し、豊の国ねりんピックを開催するとともに、大分県老人クラブ連合会が主催する老人クラブスポーツ大会を支援した。 市町村や地域包括支援センター、専門職団体、民間企業等と協働して、通いの場の活動内容の多様化と魅力向上に取り組み、新たな層の参加促進を図った。 県内市町村と連携し、「めじろん元気アップ体操(運動機能向上プログラム)」を行う住民主体の通いの場の拡大・推進を行っている。また、介護予防活動のさらなる機運向上を図るため、運動(体操)を中心に活動している個人・団体を表彰した。</p>	高齢者福祉課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県民すこやかスポーツ祭では、関係団体と連携し、「ウォーキング」や「グラウンドゴルフ」、「3B体操」等、高齢者でも気軽に取り組める種目も実施した。また、総合型クラブでは、「健康体カサポート教室」を開催し、ヘルスプロモーターを健康運動士とともに派遣し、地域における高齢者の健康・体づくりの推進を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ NPO法人ヘルス・フィットネス・フォーラムと連携し、体力測定や運動指導を行えるヘルスプロモーター(県教委認定)を令和2~6年度までに70名認定した指導者を、総合型クラブや市町村が開催する『健康体カサポート教室』へ派遣することで、体力・筋力アップ、要介護予防、運動実施の促進を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分県版フレイルチェックシート等を活用したフレイル予防の普及啓発を行った。</p>	高齢者福祉課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 健康体カサポート教室を実施することで、スポーツに親しむ機会がなかった高齢者への働きかけを推進した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ フレイル予防や「めじろん元気アップ体操」「お口元気体操」の普及啓発媒体の配布等により、生活不活発病予防、口腔機能向上、栄養改善等の介護予防に関する情報を発信した。 住民主体の通いの場等の地域における効果的な介護予防活動の推進を図るため、リハビリテーション専門職等を派遣した。</p>	高齢者福祉課
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 高齢者への運動機会を推進するため、ヘルスプロモーターを派遣する「健康体カサポート教室」を、健康アプリ「おおいた歩得」で周知し、健康づくりに関するイベント情報の発信に努めた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
60代以上の定期的なスポーツ実施率	%	R2	50.7	57.5	65.7	114.3	◎達成	R12	65.0	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 豊の国ねりんピックについてはR7年度から、熱中症による健康面への配慮等により、開催日程を9月から11月へ変更した。老人クラブスポーツ大会も同様に、各市町村内の予選会を考慮し、熱中症対策として開催時期を後ろ倒しにした。両大会ともに、参加者数の増加に向けた取組が重要となる。 住民主体の通いの場の参加率は14.0%で全国1位の実績であるが、概ね横ばい(やや減少傾向)である。また、男性の参加率は全体の約2割であり、女性より参加が少ない傾向にある。</p> <p>→ 競技人口の減少が参加者数に影響していることから、各市町村及び関係団体等との連携を図り、新種目の導入検討を含め、広報活動に注力する。 引き続き市町村と連携して、通いの場の拡大・充実にに向けた取組を進める。特に、地域の多様な介護予防活動を推進し、男性の社会参加促進につながる活動内容について優良事例の横展開を図る。</p>	<p>高齢者福祉課</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 令和7年度の体力・運動能力調査における高齢者の週1回以上の定期的なスポーツ実施者の割合は65.7%と目標指標を上回った。コロナ禍以降のスポーツイベントの再開など、運動機会の増加が要因であると考えられる。</p> <p>→ 県民すこやかスポーツ祭等のイベントの充実をはじめ、総合型クラブでの日常的な運動実施機会の提供を継続し、「あるとっく」で「健康体力サポート教室」などの広報も行い、高齢者の健康・体力づくりを推進する。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 令和2～6年度までの5年間でヘルスプロモーター(県教委認定)を70名養成した。また、総合型クラブに健康運動指導士やヘルスプロモーター(県教委認定)等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」も実施した。資格を取得した指導者の活躍の場を広げることが必要。</p> <p>→ 次年度以降も、ヘルスプロモーター(県教委認定)を健康運動指導士とともに地域の企業、公民館や総合型クラブ等へ派遣し、健康体力サポート教室を実施する。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 各市町村において大分県版フレイルチェックシートを活用し、フレイルまたはプレフレイルに該当する高齢者を介護予防活動等につなげる仕組みを構築しているところである。</p> <p>→ 引き続き、市町村と連携し、大分県版フレイルチェックシートを活用した高齢者の意識醸成を図る。</p>	<p>高齢者福祉課</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 総合型クラブのイベントに加え、高齢者の健康・体力づくりを目的に、ヘルスプロモーター(県教委認定)を健康運動指導士とともに総合型クラブ3箇所、1市へ派遣し、180名の高齢者に対して、健康体力サポート教室を実施した。参加した高齢者からは概ね好評だった。</p> <p>→ 総合型クラブで高齢者対象の「健康体力サポート教室」の実施の際には、「めじろん元気アップ体操」等も盛り込んだ健康づくりのプログラムを行った。身近な場所で運動に親しめるよう、引き続きホームページや歩得で周知し、高齢者の意識醸成を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ フレイルの日の街頭啓発等で大分県版フレイルチェックシート、めじろん元気アップ体操パンフレット配布。 市町村が行う介護予防ボランティア・サロンリーダー向け研修や通いの場支援においてリハビリテーション専門職等の関与が進んでいる。</p> <p>→ 引き続き、より効果的な体操の実践を含めた情報発信を行う。 また、通いの場等への幅広い医療専門職の関与により、効果的なプログラムの実施を推進する。</p>	<p>高齢者福祉課</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用したり、県内31の総合型地域スポーツクラブの紹介パンフレットを活用し、情報提供に努めた。</p> <p>→ 総合型クラブの活動状況を紹介するパンフレットを大分県教育委員会のHPを活用し、高齢者対象の「健康体力サポート教室」の周知を引き続き行っていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	県民健康増進課 /高齢者福祉課 障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(4)	ライフステージに応じたスポーツイベントの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	少年期のスポーツイベントの充実			
	②	青・壮年期のスポーツイベントの充実			
	③	高齢期のスポーツイベントの充実			
R6点検・評価で整理した課題・改善点	①	障がい者がスポーツに親しめる場に関する情報発信の不足	② 障がい者がスポーツに親しめる場に関する情報発信の不足		
	①	パラスポーツを通じた障がいへの理解や社会的意義を伝える啓発活動の停滞	② パラスポーツを通じた障がいへの理解や社会的意義を伝える啓発活動の停滞		
	①	スポーツ少年団事業の充実	③ 障がい者がスポーツに親しめる場に関する情報発信の不足		
	②	参加者増加に向けた参加制度の推進	③ パラスポーツを通じた障がいへの理解や社会的意義を伝える啓発活動の停滞		
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	デフスポーツ普及啓発	1,609	② 日本選手権等への運営費補助	500
	①	県民スポーツフェスティバル開催事業	11,057	② 地域内交流大会	856
	①	大分県スポーツ少年団大会	105	③ デフスポーツ普及啓発	1,609
	②	みんなで進める健康づくり事業	94,581	③ 県民スポーツフェスティバル開催事業	11,057
	②	デフスポーツ普及啓発	1,609	③ 日本選手権等への運営費補助	500
	②	県民スポーツフェスティバル開催事業	11,057	③ 県内競技別交流大会	540

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○生涯スポーツ協会指導者派遣事業では、「スポーツチャンバラ」「レクリエーション」などの指導者を小学校に派遣できた。県民すこやかスポーツ祭では、総合型地域スポーツクラブが「運動・遊び」や「忍者ランド」など子ども向けのイベントを実施できた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県スポーツ少年大会は、26人の小学生団員が参加し、様々な活動を通して交流を深めた。地域内交流大会では、県内14市町で多様な交流事業を実施した。また、県内競技別交流大会では、11の競技で16の交流大会を実施した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○新健康アプリ「あるとつく」を活用し、みんなで健康づくりに取り組む気運の醸成を図った。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組②</p> <p>○東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分県民スポーツ大会における参加選手数の増加に向け、引き続き「ふるさと選手制度・総合型地域スポーツクラブ制度」を導入するとともに、各都市スポーツ協会を通じて周知を行い、大会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○5月～6月に「県民すこやかスポーツ祭」、9月に「大分県民スポーツ大会」を別枠ブロックを主会場として7市3町で開催し、各市町村や各競技団体を通じて多くの高齢者に呼びかけを行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p> <p>→大型イベントにて周知を行い、デフリンピックの機運醸成に資することができたため、今後も機会をとらえてデフスポーツに関する情報発信に努めたい。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○県内の子ども園(4回)、小学校(3回)、総合型クラブや公民館事業等に(10回)に生涯スポーツ協会加盟団体の指導者を派遣し、子どもたちに楽しく運動に親しめる環境を提供した。</p> <p>→生涯スポーツ協会指導者派遣事業をとおり、保育園・幼稚園や子ども園、小学校や特別支援学校において、子どもたちのニーズに応じた指導者派遣を行ない、スポーツに関わりの少ない子どもたちへの運動機会を提供していく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県スポーツ少年大会は、26人の小学生団員が参加し、様々な活動を通して交流を深めた。地域内交流大会では、県内14市町で多様な交流事業を実施した。また、県内競技別交流大会では、11の競技で16の交流大会を実施した。</p> <p>→大分県スポーツ少年大会は参加者も増加し、有意義な活動をおこなうことができた。また、各市町村・各競技団体でも多種多様な事業を開催し、多くの子どもたちの交流の場を創出することができた。夏場の暑熱対策等課題も出てきているので、内容・方法をブラッシュアップしながら、引き続き持続可能な事業を目指していきたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○新健康アプリ「あるとっく」を活用し、みんなで健康づくりに取り組む気運の醸成を図る。</p> <p>→無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるよう新健康アプリ「あるとっく」の利用者拡大を図り、職場ぐるみの健康づくりを推進する。</p>	<p>県民健康増進課</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p> <p>→大型イベントにて周知を行い、デフリンピックの機運醸成に資することができたため、今後も機会をとらえてデフスポーツに関する情報発信に努めたい。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○第78回大分県民スポーツ大会では「ふるさと選手制度」で288名、「総合型地域スポーツクラブ制度」で255名の合計543が制度を利用して参加した。</p> <p>→来年度も継続して「ふるさと選手制度・総合型地域スポーツクラブ制度」への呼びかけを行うことで、青年期・壮年期のスポーツイベントへの参加の拡充につなげたい。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p> <p>→大型イベントにて周知を行い、デフリンピックの機運醸成に資することができたため、今後も機会をとらえてデフスポーツに関する情報発信に努めたい。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○各市町村スポーツ協会や各市町村競技団体を通じて県民すこやかスポーツ祭や大分県民スポーツ大会の周知及び参加を呼びかけ、県民すこやかスポーツ祭に7,588人、大分県民スポーツ大会に7,695人が参加した。</p> <p>→引き続き、各市町村や各関係競技団体と連携してより多くの高齢者が参加しやすいスポーツフェスティバル事業を実施するとともに、参加者に分かりやすいホームページ、ポスター等を活用して大会開催の情報発信を展開する。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課
分野別施策	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進		
項目別テーマ	(1)	障がい者スポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 障がい者のスポーツ機会の拡充	④ 障がい者スポーツの優秀選手支援		
	② 障がい者スポーツの環境整備			
	③ 障がい者スポーツの競技力向上			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 障がい者スポーツに関する発信力向上	④ デフリンピック等を踏まえた障がい者スポーツの普及啓発 及びアスリートの育成		
	② 障がい者スポーツ人材の確保とマッチング			
	③ 障がい者スポーツの競技力向上			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① パラスポーツPRのための広報コンテンツ 作成	7,478	③ 全国障害者スポーツ大会派遣事業	8,367
	② めじろんフィールド整備事業	4,573	④ デフスポーツ普及啓発	1,609
	② 競技用装具購入支援事業	1,138		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 多くの方にパラスポーツの魅力や社会的意義等について理解を深めてもらうため、大分国際車いすマラソン及びパラスポーツに関する動画を制作・発信し、障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりに努めた。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県パラスポーツ指導者協議会と連携し、初級パラスポーツ指導員養成講習会(19人養成)を開催したほか、競技に使用する競技用義足等補装具の購入支援事業を市町村と連携し実施した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 障がいのある児童・生徒に運動意欲を喚起することを目的としためじろんフィールド整備事業を継続し、特別支援学校8校のグラウンドにおいて児童・生徒が安心して楽しめるよう肥料の散布や冬芝の施行等の維持・管理を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 全国障害者スポーツ大会へ大分県選手を派遣するとともに、障がい者スポーツ競技団体に対し、大会の開催や県外大会への遠征に対する支援を行った。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。</p>	障害者社会参加推進室

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	障害者社会参加推進室
○ 多くの方にパラスポーツの魅力や社会的意義等について理解を深めてもらうため、大分国際車いすマラソン及びパラスポーツに関する動画を制作・発信し、障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりに努めた。	
→ 制作した動画を利用し、機会をとらえて各種媒体で広報を行い、障がい者がスポーツをする機会をさらに拡充するため、引き続き発信力向上に努める。	
具体的な取組②	障害者社会参加推進室
○ 県パラスポーツ指導者協議会と連携し、初級パラスポーツ指導員養成講習会(19人養成)を開催したほか、競技に使用する競技用義足等補装具の購入支援事業を市町村と連携し実施した。	
→ 県パラスポーツ指導者協議会や県障がい者スポーツ協会と連携し、障がい者スポーツの実施に必要な指導者等の人材を確保するとともに、競技団体とのマッチングを図り、障がい者スポーツの環境整備を進める。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ グラウンド芝生化は1校の特別支援学校が取り組んでいる。	
→ 特別支援学を拠点とした学校施設の管理については、指定管理者と連携して、障がい者のスポーツ環境の整備に取り組む。	
具体的な取組③	障害者社会参加推進室
○ 全国障害者スポーツ大会へ大分県選手を派遣するとともに、障がい者スポーツ競技団体に対し大会の開催や県外大会への遠征に対する支援を行った。	
→ 障がい者スポーツ競技団体に対する支援や、全国障害者スポーツ大会への派遣を通じて競技力の向上を図る。	
具体的な取組④	障害者社会参加推進室
○ 東京2025デフリンピックの開催に向け、デフリンピック及びデフスポーツの認知度を向上させるため、日本デフビーチバレーボール協会に委託し、大分県障がい者スポーツ大会や秋の交歓会、大分国際車いすマラソンにてブースを展示したほか、デフビーチバレーの国際親善大会を開催するなど、普及啓発を実施した。	
→ 東京2025デフリンピックを通じて盛り上がった本県のデフスポーツのさらなる振興を図るため、県内アスリートの国際大会出場を引き続き支援する。	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	1	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進		
項目別テーマ	(2)	女性のスポーツ活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 女性がスポーツを楽しむための環境の整備	③ 女性指導者が活動できる場の確保		
	② スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援			
	③ 女性指導者の積極的な育成			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 女性が気軽に参加できる運動プログラムの提供			
	② 女性役員の積極的な登用			
	③ 女性指導員の養成推進			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 地域のスポーツライフサポート事業	14,789	③ スポーツ振興基金事業	17,119
	② -	-	③ 女性アスリートパフォーマンス向上セミナー	25
	③ 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会等(日本パラスポーツ協会委託)	250	③	

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○子育て・働く世代を対象に総合型クラブが教室やスポーツイベントを創出し、女性が気軽に家族や友人と参加できるスポーツ環境を整備した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分県スポーツ推進審議会委員は、委員定数20名の4割にあたる8名の女性委員(うち、1名は公募委員)を任命している。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○令和7年度は役員改選期であったため、加盟競技団体に対し女性役員の積極的な推薦を依頼した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○県障がい者指導者協議会と連携して、障がい者スポーツ初級指導員19人のうち女性指導員9人を新たに養成した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○地域スポーツ指導者養成講習会では、女性指導者の育成を行った。また、公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャーの養成講習会を開催し、総合型地域スポーツクラブの経営を担う女性指導者の育成を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○スポーツ振興基金運用委員会の役員改選期であったため、全役員13名中6名を女性役員として委嘱した。(女性役員率46%)</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○女性アスリートを対象とした講習会を今年度も開催し(令和7年12月20日(土))、約40名が参加した。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 総合型クラブが実施した教室やスポーツイベントの日程が合わないことがあったため、子育て・働く世代の女性が参加しやすい環境を整備することが必要。	
→ 働く女性、子育て世代でも無理なく参加しやすい魅力のあるスポーツイベントや教室を創出するため、総合型クラブと企業等との連携を今後推進していく。さらに女性が気軽に参加できるスポーツ環境の構築を図る。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ 令和8年度以降も、各団体の役員・委員には積極的に女性を登用していく。	
→ そもそも、各団体等の役員に女性が少ないのが現状のため、各団体に対して、引き続き女性役員登用促進に向けた働きかけを行っていく。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 令和7年度は役員改選期であったため、加盟競技団体に対し女性役員の積極的な推薦を依頼した。	
→ 加盟団体役員に女性が少ないということもあることから、引き続き女性役員の積極的な登用を働きかけていく。	
具体的な取組③	障害者社会参加推進室
○ 県障がい者指導者協議会与連携して、障がい者スポーツ初級指導員19人のうち女性指導員9人を新たに養成した。	
→ 県パラスポーツ指導者協議会与連携し、引き続き女性指導者の養成を推進する。	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
○ 基本的に現場で指導している女性指導者が少ない。引退後の女性アスリートに対して、指導できる機会の提供を競技団体と連携して取り組んでいる。	
→ 現役選手の時からジュニア選手への指導等を経験させ、引退後に指導に携わるきっかけになるよう取り組んでいく。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ スポーツ指導に関わる女性指導者の絶対数が少ないため、指導者を増やす必要がある。	
→ 現役選手の時からジュニア選手への指導等を経験させ、引退後に指導に携わるきっかけになるよう取り組んでいけるよう、各競技団体と連携していく。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ 女性アスリートを対象とした講習会を今年度も開催し(令和7年12月20日(土))、約40名が参加した。	
→ 国民スポーツ大会の監督やコーチに女性がまだまだ少ないことから、今後もこのような講習会を引き続き開催すると共に、公認コーチ資格の積極的な取得も促して行く。	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用		
項目別テーマ	(1)	総合型地域スポーツクラブの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 中間支援組織(広域スポーツセンター等)による総合型クラブの質的充実支援	④ 総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応に向けた支援		
	② 市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大	⑤ 地域の健康づくり拠点化の推進		
	③ 総合型クラブおおいたネットワークとの連携	⑥ 「新しい公共」を担う総合型クラブの育成		
R6点検・評価で整理した課題・改善点	① クラブ関係者の人材育成	④		
	② クラブアドバイザーによる指導及び助言	⑤		
	③ 「登録・認証制度」に対応した関係団体との連携	⑥		
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①		④	
	② クラブアドバイザー配置事業	4,102	⑤	
	③		⑥	

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 専門的知識・能力を持ったクラブマネジャーを養成するための公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー講習会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県からの委託事業として、公認アシスタントマネジャー養成講習会を今年度も開催した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会未登録クラブに対して、市町村と連携して登録促進に努めた。また、総合型クラブと地域企業、市町村が連携して教室やスポーツイベントを開催し、活動の幅を広げた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 今年度も本会内にクラブアドバイザーを設置し、市町村や総合型地域スポーツクラブへ派遣した。また、普段から各クラブの活動に対するアドバイスを行った。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 総合型クラブ連絡会で、今後の本県での「登録・認証制度」の運用や本県の総合型クラブの課題やあり方について意見交換及び協議した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ クラブネットワークアクションへの参加等諸活動を通じてSCおおいたネットワークとも連携し、情報共有を行った。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会未登録クラブを訪問し、登録制度の趣旨や今後の方向性、登録手続きの説明や申請手続きの支援を行なった。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の総会を5月に開催し、登録・認証制度についての説明を行った。次年度に向けた登録認証制度への申請クラブは、29クラブであった。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 養成したヘルスプロモーターと健康運動指導士を総合型地域スポーツクラブへ派遣する「健康体力サポート教室」を開催した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の事業として、ブラッシュアップ研修会を沖縄県で開催した。他県の先進クラブを訪問し、活動事例等の情報交換を行う事により、各地域のニーズに合った事業推進のヒントを得た。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡会では、子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業の実践報告を行い、新たな教室やスポーツイベントの創出について周知を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ ブラッシュアップ研修会、会計スキルアップ研修会、ガバナンスチェック事業等を行い、各クラブ及び担当者のスキルアップを図ると同時に、クラブとしても時代の要求に応じた資質向上を図るようにした。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
総合型クラブの会員数	万人	R1	16,100	20,400	13,042	63.9	×著しく不十分	R12	22,100	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 中高齢者の体力向上の運動プログラムを提供できるヘルスプロモーターとクラブとの連携を図る健康体力サポート教室、各総合型クラブの運営を担う公認アシスタントマネジャーの養成講習会を実施し、クラブ関係者の養成を行った。</p> <p>→ 公民館事業や総合型地域スポーツクラブ等の活動に指導者とのマッチングを図ることが課題である。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県からの委託事業として、公認アシスタントマネジャー養成講習会を今年度も開催した。</p> <p>→ 今後、未登録クラブに向けたアシメ資格取得の促進を呼びかけていく。また、養成講習会の在り方を見直し、資格取得者以外の参加も見込めるよう、クラブ関係者のスキルアップに繋がる講習会として内容を工夫・改善していきたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県連絡協議会登録クラブを増加するために、県スポーツ協会、市町村とともに広報活動が必要。また、総合型クラブと地域企業が連携して開催する教室やスポーツイベントを充実させていくことが必要。</p> <p>→ 県スポーツ協会、市町村と連携し、総合型地域スポーツクラブを訪問するなど、登録を促進するとともにスポーツイベントなどの充実を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 今年度も本会内にクラブアドバイザーを設置し、市町村や総合型地域スポーツクラブへ派遣した。また、普段から各クラブの活動に対するアドバイスを行った。</p> <p>→ 各市町村担当部局と連携を密にしながら、今後も各クラブのサポートをより充実させていきたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ クラブネットワークアクションへの参加等諸活動を通じてSCおおいたネットワークとも連携し、情報共有を行った。</p> <p>→ 引き続き、SC大分ネットワークとも連携を図りながら、情報共有をおこなっていくとともに、未登録クラブのサポート、新規登録の促進等に努めていきたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 令和7年度登録申請したクラブは31クラブとなった。コンプライアンスの強化が課題となっているため、クラブ経営を担うクラブマネジャーや事務局長への定期的な研修が必要である。</p> <p>→ 各クラブとも財源、運営スタッフの獲得等多くの課題が山積しているのが現状であるが、引き続き「登録・認証制度」への周知を図り、登録クラブと連携した取組が各市町村で推進されるよう市町村スポーツ主管課へ働きかけを行う。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の総会を5月に開催し、登録・認証制度についての説明を行った。次年度に向けた登録認証制度への申請クラブは、29クラブであった。</p> <p>→ 登録・認証制度の周知をおこない、新規登録クラブの増加を図るとともに、既存の登録クラブに対して還元する事業内容について、より充実させ、制度登録に対するメリット感を創出していく必要がある。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 各総合型クラブでの指導者の活用が課題。また、派遣方法や派遣先について改善を図る必要がある。</p> <p>→ ヘルスプロモーターについては、「健康体力サポート教室」を実施し、地域の健康づくりを推進するとともに、育成した指導者の活用の場を構築していくことが必要である。クラブ関係者をはじめ、スポーツ推進委員等にも周知し、活用機会を増やしていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の事業として、ブラッシュアップ研修会を沖縄県で開催した。他県の先進クラブを訪問し、活動事例等の情報交換を行う事により、各地域のニーズに合った事業推進のヒントを得た。</p> <p>→ 今後も先進クラブの視察等を通じて、各クラブの運営に資するようになるとともに、各クラブには、地域のニーズを的確にキャッチし、拠点としての機能を果たせるようサポートしていきたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ 総合型クラブとして、教室やイベントを創出したいという思いはあるが、多くのクラブが事務担当者の高齢化や後継者及び運営スタッフの確保に苦慮しており、積極的に新たな取組に踏み出せないのがクラブが多くあるのが現状である。</p> <p>→ クラブ連絡会で子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業の実践内容について共有し、取組みやすい環境を整える。また、県スポーツ協会や市町村と連携し、後継の運営スタッフの確保のためクラブマネジャーの養成を推進する。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ ブラッシュアップ研修会、会計スキルアップ研修会、ガバナンスチェック事業等を行い、各クラブ及び担当者のスキルアップを図ると同時に、クラブとしても時代の要求に応じた資質向上を図るようにした。</p> <p>→ 様々な研修会を通じてクラブとして個人としてスキルアップを図るとともに、学校運動部活動の地域展開やスポーツ少年団との連携など、最新の動向を常に発信し、各クラブの中でもアップデートしてもらいながら、地域を担う総合型クラブとして継続的に育成していきたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	スポーツ振興課 /体育保健課
分野別施策	1	「みる」「ささえる」スポーツの充実		
項目別テーマ	(1)	「みる」「ささえる」スポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 世界・国内トップレベルのスポーツ大会の誘致と観戦促進	④ プロスポーツの推進		
	② 子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供			
	③ 大会を支える審判員等の専門スタッフの育成			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 官民一体となった誘致活動	④ スポーツを応援する機運の醸成		
	② 観戦機会及び交流機会の提供			
	③ 関係団体との連携			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分スポーツ地域元気創出事業	67,748	③	
	① ツール・ド・九州推進事業	74,395	④ プロスポーツ連携事業	32,417
	② プロスポーツ連携事業	32,417	⑥	

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○開催3年目となった国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」を実施した。今大会では、これまで参加してきた福岡県・熊本県・大分県の3県に加え、新たに長崎県及び宮崎県が参加し、大分県はこの大会では初となる宮崎県との2県に跨るステージ共同開催に挑戦した。延岡-佐伯間の日豊海岸沿いを走るコースとし、2県合計で約4万4千人の観戦客があった。また、県や市町村等で組織する大分県スポーツ合宿誘致推進協議会において、トップチーム等の合宿誘致に取り組み、世界陸上に出場するポルトガル陸上選手団をはじめ、多くの強豪チーム等が県内で合宿を実施した。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○県内で活躍するプロスポーツチームとの連携を図り、サッカー、ラグビー、フットサルや自転車競技において、学校訪問や国内トップレベルの試合を観戦する機会を創出した。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○県民すこやかスポーツ祭や第64回大分県スポーツ推進委員研究大会では、ユニバーサルスポーツの体験会やイベントを実施し、体験するとともに、みる、ささえるスポーツの機会を提供できた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○関係スポーツ団体と連携し、県教育委員会のホームページを通じて、県民誰もが参加できる県民すこやかスポーツ祭や生涯スポーツ協会指導者派遣事業、各種指導者養成講習会、県民スポーツ大会結果等の紹介を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○大分トリニータのホームゲームにおいて、県内プロスポーツチームのPR動画を放映し、スポーツに参加する機運の醸成を行ったほか、大分駅のデジタルサイネージを活用して県内プロチームを応援する画像も掲出した。</p>	スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ ツール・ド・九州2025の開催や、国内外のトップチーム等の合宿や事前キャンプなど国内外のトップレベルのスポーツイベントを継続して誘致できている。</p> <p>→ 競技団体や市町村等の関係機関と連携しながら、今後もスポーツイベントの誘致に向けて取り組んでいく。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県内プロスポーツチームのホームゲームへの親子無料招待事業を実施しているが、今後も多くの子どもたちに試合を観戦してもらうためには、スポーツを身近に感じ、興味をもってもらう必要がある。</p> <p>→ 県内プロスポーツチームの選手等を学校や身近な地域に派遣し、子どもたちがプロスポーツに接する機会を増やしていく。来年度からは複数チームによる学校訪問も新たに行うことで異なる競技を同時に体験できる機会を提供し、プロスポーツの魅力をより身近に感じてもらえるための更なる取組を行っていく。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県民すこやかスポーツ祭では卓球/バレーやボッチャ、ベタンクなどの大会や交流会の実施。第64回大分県スポーツ推進委員研究大会では卓球/バレーやフープディスゲッター等の体験ブースを設置し、ささえるスポーツの研修会を実施することができた。</p> <p>→ 年齢や性別、障がいのある、ないに関わらず、誰もがスポーツを楽しめる機会を増やしていけるよう、引き続き関係スポーツ団体・指導者等と連携していく。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県教育委員会ホームページを、更新することで、各種イベント等についての問い合わせが多くあった。</p> <p>→ 県主催のイベントや生涯スポーツ協会、大分県スポーツ推進委員協議会等の関係団体に関する情報を県民によりわかりやすく伝えていけるよう改善を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 大分トリニータのホームゲームを活用し、スポーツ関係のPR動画を放映するなど、県民がスポーツへの関心を高めるよう取り組んでいる。</p> <p>→ 今後もプロスポーツチームと連携し、活用することにより、県民がスポーツを親しむ機運の醸成を図る。また、プロスポーツ同士の連携もこれまで以上に円滑に進むように、行政として支援していく取組みも必要である。</p>	スポーツ振興課

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	スポーツ振興課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課
分野別施策	1	「みる」「ささえる」スポーツの充実		
項目別テーマ	(2)	スポーツボランティア活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① スポーツボランティアの啓発			
	② スポーツボランティアの発掘と育成			
	③ スポーツボランティアの活用			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 継続的な啓発活動		③ ボランティアに係る円滑な連絡調整とマッチング	
	① 個人ボランティアの受入体制の整備			
	② 学校や企業との連携強化			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① プロスポーツ連携事業	32,417		
	① 国際車いすマラソン開催事業	35,000		
	② 国際車いすマラソン開催事業	35,000		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キヤノンイーグルスホームゲームなどを通じて啓発に努めることができた。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 第44回大分国際車いすマラソンを開催し、約1,900名のボランティアの活動状況を大会記念誌等で紹介するとともに、個人ボランティアについては、障がい者スポーツサポーターとして受け入れを行った。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 別府大分毎日マラソン大会等のスポーツイベントでの企業等を回り、新たにボランティアに参加する企業を発掘するとともに、これまでボランティアとして参加していただいた方にボランティアリーダーとして活躍してもらった。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分国際車いすマラソン開催に当たり、企業ボランティアを対象にした事前説明会を開催し、大会の意義や業務のノウハウについて説明。また海外通訳ボランティア「Can-do」とも連携し、大会の円滑な運営と人材の発掘・育成の両立を進めた。さらに県障がい者スポーツ協会において障がい者スポーツサポーター養成研修を実施し、新たに26人の養成を行った。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 別府大分毎日マラソン大会など、当課関連のイベントでのボランティア活用だけでなく、希望する方には国際車いすマラソンのボランティア案内を行うなど、連携した取組も進める予定。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分国際車いすマラソンや各種体験会などにおいて、大分県障がい者スポーツ協会と連携し、即応性のある形でイベント情報の周知を行うとともに、サポーターを募集し、適切なマッチングを行った。</p>	障害者社会参加推進室

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	スポーツ振興課
○ 別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キヤノンイーグルスホームゲームなどを通じて啓発に努めることができる。	
→ スポーツボランティアの確保に向けて、継続して啓発活動に取り組む。	
具体的な取組①	障害者社会参加推進室
○ 第44回大分国際車いすマラソンを開催し、約1,900名のボランティアの活動状況を大会記念誌等で紹介するとともに、個人ボランティアについては、障がい者スポーツサポーターとして受け入れを行った。	
→ 企業や団体ボランティアのほか、個人ボランティアの受入も含め引き続き県障がい者スポーツ協会と連携を図りながら啓発に努める。	
具体的な取組②	スポーツ振興課
○ 別府大分毎日マラソンなどでのボランティア活用により、ボランティアへの理解が進むとともに、イベントを通じてボランティア運営ノウハウを蓄積することができる。	
→ 別府大分毎日マラソンに協力いただいている企業や大学、専門学校等との連携を強化し、継続してボランティアの発掘・育成に取り組む。	
具体的な取組②	障害者社会参加推進室
○ 大分国際車いすマラソン開催に当たり、企業ボランティアを対象にした事前説明会を開催し、大会の意義や業務のノウハウについて説明。また海外通訳ボランティア「Can-do」とも連携し、大会の円滑な運営と人材の発掘・育成の両立を進めた。さらに県障がい者スポーツ協会において障がい者スポーツサポーター養成研修を実施し、新たに26人の養成を行った。	
→ 大分国際車いすマラソンへの参加を通じて、障がい者スポーツの振興施策に積極的な人材の発掘・育成を継続する。	
具体的な取組③	スポーツ振興課
○ 別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キヤノンイーグルスホームゲームなどのスポーツイベントでボランティアを活用することができる。	
→ イベントの主催者やプロスポーツチームと連携し、継続してボランティアの確保に取り組む。	
具体的な取組③	障害者社会参加推進室
○ 大分国際車いすマラソンや各種体験会などにおいて、大分県障がい者スポーツ協会と連携し、即応性のある形でイベント情報の周知を行うとともに、サポーターを募集し、適切なマッチングを行った。	
→ 引き続き、県障がい者スポーツ協会と連携し、大会やイベントの情報発信を充実させるとともに、ボランティアの協力を活用し円滑なイベント運営に努める。	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
○ 別府大分毎日マラソン大会に大分市スポーツ推進委員14名、別府市スポーツ推進委員26名が大会ボランティアとして活動を行った。	
→ 今後も県内のスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ関係者等を県内開催のイベントのボランティアとして活動してもらえるように、各種会議や研修会等で働きかけを行っていく。	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	体育保健課
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(1)	地域の特性を活かした活動の場の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備			
	②	身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備			
	③	天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供			
R6点検・評価で整理した課題・改善点	①	市町村や各種団体と連携した活動の場の充実			
	②	地域の特色を活かしたプログラムの創出			
	③	モデルケースの情報発信を強化			
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①			④	
	②			⑤	
	③			⑥	

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 総合型クラブが身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラム創出事業の後継イベントに取り組み、九重森林公園スキー場のトレッキング&ウォーキングやニュースポーツ体験会、レクリエーション大会等を実施した。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ 総合型クラブが、シンボリックプログラム創出事業の後継イベントにおいて、管理する地域の体育施設や学校の体育館を利用した、モルックや卓球バレー、スクエアステップ等の誰もが楽しめる軽スポーツが実施できる場を提供した。	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
○ 総合型クラブが地域の市町村行政、競技団体等の協力を得て、身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出事業の後継イベントに取り組み、くじゅう森林公園スキー場でトレッキング&ウォーキングを実施した。	

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 総合型クラブが市町村行政と連携し、くじゅう森林公園スキー場のトレッキング&ウォーキングイベントや湯布院の裏道散策ウォーキング等を実施することができた。</p> <p>→ 今後も、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携して、各総合型クラブに対し、地域のスポーツニーズに応えられるよう助言するとともに、市町村と協働して体験会やイベント企画し、広く周知していけるよう引き続き支援を行っていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 総合型クラブが、地域の課題である高齢者の運動不足に着目し、卓球バレーやモルック、スクエアステップ等のニュースポーツ体験会を実施し運動機会を提供した。スポーツ活動の場の充実を支援した。</p> <p>→ 総合型クラブが、地域の特色を活かしたスポーツイベントとして県民すこやかスポーツ祭の実施を推進する。また、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携して、各総合型クラブが、市町村と協力し、地域の課題解決に向けたスポーツや運動の体験会やイベントを企画し、実施できるように引き続き支援していく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ シンボリックプログラム創出事業の後継イベントでは、総合型地域スポーツクラブが企画運営した九重森林公園スキー場で実施したトレッキング&ウォーキングを行った。</p> <p>→ 令和3年度～5年度に創出されたシンボリックプログラムの中から県内の自然を活かしたイベントを参考して、風土や景観を楽しむトレッキングやウォーキング等を総合型地域スポーツクラブで引き続き実施していく。情報発信については引き続き、「あるとつく」等他の部局のシステムと連携して周知を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	教育財務課 /体育保健課
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(2)	学校体育施設の充実と有効活用		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 学校体育施設・設備の整備・充実			
	② 学校体育施設開放事業の促進			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 学校体育施設の老朽化への対応			
	② 県立学校における体育施設開放校の継続			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 県立学校施設整備事業	5,844,196 の内数	④	
	② 県立学校体育施設開放事業	999	⑤	
	③		⑥	

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 体育館空調設備設置(大分上野丘、中津東、別府鶴見丘等)、グラウンド・ネット等改修(鶴崎工業、中津東、杵築等)、体育館・柔剣道場等改修(国東、臼杵、三重総合等)等を実施した。</p>	教育財務課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県立学校8校を指定校とし、学校長が教育活動に支障の無い範囲で体育館やグラウンド等の体育施設を地域住民に開放した。総合型クラブや市スポーツ協会等に事務手を委託し、土日祝日を中心に地域住民に開放した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">具体的な取組①</div>	教育財務課
<p>○ 県立学校体育施設の充実を図るため、老朽化対策の計画的実施などに取り組む必要がある。</p> <p>→ 県立学校体育施設について、大規模改修などを活用して施設の整備・充実を図っていく。</p>	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">具体的な取組②</div>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>○ 小・中学校の体育施設の開放は、県内全域でほぼ100%開放できている。県立学校の指定8校については、継続的な活動として開放できた。その他の県立学校については、目的外使用の申請で、短期的な活動として開放できた。</p> <p>→ 小・中学校の体育施設の開放がほぼできている。県立学校については、部活動の活動ない特別支援学校を中心に、教育活動に支障の無い範囲で開放するとともに、目的外使用申請で、短期的な開放ができることも周知していく。</p>	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	県民健康増進課 /高齢者福祉課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(3)	スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 県立スポーツ施設の維持・整備				
	② スポーツ環境を充実させるための施設運営				
	③ 支援体制の整備に向けた検討				
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① スポーツ施設の整備・充実や予防保全に基づく計画的な管理		③ 競技力向上を目的とした中堅指導者の研修事業(2か年)の第2期2年目を実施		
	② 利用者のニーズを踏まえた機能充実				
	③ スポーツ施設運営者の障がい者差別解消を図る				
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	県立武道スポーツセンター管理運営費 県立フェンシング場管理運営費	159,436 1,791	③ スポーツ大分パワーアップ事業	11,000
	②	県立武道スポーツセンター管理運営費 県立フェンシング場管理運営費	159,436 1,791	③ スポーツ大分パワーアップ事業	9,000
	③	スポーツ振興基金事業	17,119		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 施設・設備の保守管理、保安警備の他、トレーニング機器保守点検後、劣化部品交換など必要な修繕を行った。</p>	体育保健課/管理予算
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県民すこやかスポーツ祭で、ママさんバレーボール、スポンジボールテニス、ミニバレーボール、太極拳を実施し、県民がスポーツに親しむ取組を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 武道教室、レディースバドミントン教室、初心者・高齢者向け教室などの自主事業を実施した他、スポーツイベント「みんなのスポーツデー」を開催するなど、県民がスポーツに親しむ取組を行った。</p>	体育保健課/管理予算
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 高齢者や障がい者も参加できる卓球バレー等のユニバーサルスポーツを、シンボリックプログラム創出事業の後継イベントなどで実施し、多くの来場者が体験した。スポーツ環境を充実させるための施設運営に務めた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県教育委員会のホームページを通じて、県民誰もが参加できる県民すこやかスポーツ祭や生涯スポーツ協会指導者派遣事業、指導者養成講習会、総合型クラブのイベント等の紹介を行なった。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 競技力向上を目的として、中堅指導者(想定40代)対象の研修事業(次世代を担う指導者研修)の2期目2年目(1期2年)を実施した。新しい時代にふさわしい指導者育成をテーマとして、2か年にわたる指導者研修を計画し、指導者としてのステップアップを図った。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 競技力向上に必要な競技用具や備品等の購入・補助を行った。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
県立武道スポーツセンター利用者満足度調査における「大変良い」「良い」の割合	%	R1	82.2	83.0	83.2	100.2		R12	83.0	管理予算班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組① 体育保健課/管理予算</p> <p>○ 利用者満足度の向上に向けたサービス提供体制の強化を推進する。</p> <p>→ メイン競技場内において常設ラインのない種目に対し、指定管理者がコートラインの事前設営を実施するなど、利用者の負担軽減と積極的な利用促進を図る。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/管理予算</p> <p>○ 利用者の意見を聞き、改善すべきことがあれば速やかに対応する必要がある。</p> <p>→ 利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望を基にサービス向上を図る。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 県教育委員会ホームページを見た県民の方から、各種イベント等についての問い合わせが多くあった。</p> <p>→ 県主催のイベントや生涯スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の関係団体に関する情報を県民によりわかりやすく伝えていけるよう改善を図る。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/競技力向上</p> <p>○ 競技力向上を目的として、中堅指導者(想定40代)対象の研修事業を実施した。</p> <p>→ 1期2年間の長期間にわたる研修に参加した指導者が、各種大会で活躍し研修の成果が見られている。今後も研修内容の精査をしながら、研修を継続していく。</p>
<p>具体的な取組③ 県スポーツ協会</p> <p>○ 競技力向上に必要な競技用具や備品等の購入・補助を行った。</p> <p>→ 今後も競技団体からの希望を取りまとめ、競技力向上に必要と思われる用具の調査を行う。</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	スポーツ振興課 /県民健康増進課 /高齢者福祉課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(1)	スポーツ情報の収集と提供		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	スポーツ情報システムの構築			
	②	報道機関と連携した情報提供の充実			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	①	各種媒体からの情報発信・SNSの有効活用	②	効果的な情報発信・情報提供の検討	
	②	ホームページの認知度向上			
	②	各種報道機関との情報発信に対する連携			
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	大分スポーツ地域元気創出事業	67,748	② 大分スポーツ地域元気創出事業	67,748
	①	みんなで進める健康づくり事業	94,581	② みんなで進める健康づくり事業	94,581
	①	パラスポーツPRのための広報コンテンツ作成	7,478	② 国際車いすマラソン開催事業	35,000

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

具体的な取組①	スポーツ振興課
○ 大分県のスポーツ施設や宿泊施設など、スポーツ合宿に関する情報を一元的にまとめたWebサイト「スポ泊！おおいた」をリニューアルし、地元の食事や温泉情報などを新たに追加することで、スポーツイベントやスポーツ合宿にも適した大分県の多様な魅力を発信する予定。	
具体的な取組①	県民健康増進課
○ 市町村の運動施設利用、各種団体を含めた運動イベントについて、新健康アプリ「あるとっく」を活用し情報発信を行った。	
具体的な取組①	障害者社会参加推進室
○ 多くの方にパラスポーツの魅力や社会的意義等について理解を深めてもらうため、大分国際車いすマラソン及びパラスポーツに関する動画を制作し各種媒体にて発信することで、障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりに努めた。	
具体的な取組①	体育保健課/学校体育
○ 公立中学校の部活動地域移行に取り組む中、大きな課題である指導者の確保に向けて、大分県地域クラブ等指導者人材バンク「クラサポおおいた」の登録者を増やす取り組みを行った。	
具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 県教育委員会のホームページでの講習会や事業の周知に努めた。子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業について総合型地域スポーツクラブの教室やイベントの紹介を行った。講習会や総合型クラブのイベント等については「あるとっく」を活用し周知した。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ ホームページの定期的な更新や、Instagramを活用した情報発信を積極的に行った。	
具体的な取組②	スポーツ振興課
○ 合宿誘致したトップレベルのチームの合宿情報や地域住民との交流事業の情報をWebサイト「スポ泊！おおいた」に掲載するとともに、報道機関あてにプレスリリースを行い情報発信に努めた。	
具体的な取組②	県民健康増進課
○ 新健康アプリ「あるとっく」の利用者拡大を図るため、報道機関が委員として参加する健康寿命日本一おおいた創造会議等を活用して情報発信の連携強化に努めた。	
具体的な取組②	障害者社会参加推進室
○ 大分国際車いすマラソンの開催にあたって、大分合同新聞(主催)や大分放送(共催)等と連携することで、第44回大会に係る様々な情報を県内外に発信した。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ 県教育委員会広報誌で生涯スポーツ協会派遣事業に関する情報を発信した。また、大分県民スポーツ大会では、大分合同新聞社とも連携し、大会結果等について県民に広く情報発信した。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 国民スポーツ大会や九州ブロック大会開催期間中は、大分県選手団の結果を毎日各報道機関に送信した。	

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ Webサイト「スポ泊！おおいた」の認知度を上げる必要がある。</p> <p>→ 引き続きSNS等を活用したターゲティング広告を行い、幅広く周知していく。なお、今年度サイトをリニューアルし、地元の食事や温泉情報などを新たに追加することで、スポーツイベントやスポーツ合宿にも適した大分県の多様な魅力を発信する予定。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 新健康アプリ「あるとっく」を活用し、市町村や各種団体の運動イベント登録を促進する。</p> <p>→ 新健康アプリ「あるとっく」の利用者拡大を図るとともに、市町村や各種団体に周知していく。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 多くの方にパラスポーツの魅力や社会的意義等について理解を深めてもらうため、大分国際車いすマラソン及びパラスポーツに関する動画を制作し各種媒体にて発信することで、障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりに努めた。</p> <p>→ 制作した動画を利用し、機会をとらえて各種媒体で広報を行い、障がい者がスポーツをする機会をさらに拡充するため、引き続き発信力向上に努める。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県内の金融機関におけるポスター掲示やチラシの配布等による周知に加え、県スポーツ協会における指導者講習会等において、人材バンクの説明および登録の依頼を行った。</p> <p>→ 現在420名を超える指導者が登録しているが、競技や地域に偏りがあることから、競技団体や市町村、企業と連携した登録促進に向けた取組みを進めていく。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県のホームページでは地域スポーツ指導者養成講習会や総合型地域スポーツクラブのイベントの紹介を充実させた。</p> <p>→ イベントの紹介パンフレット等を掲載し、県民の誰もが活用できるように準備を進めた。利用者にとって魅力的な情報を提供できるよう更なる充実を図る。他部局や関係団体と連携し発信力を高めたい。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○ ホームページの定期的な更新や、Instagramを活用した情報発信を積極的に行った。</p> <p>→ 今後も様々な内容の情報発信を行う。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 合宿や交流事業の情報をプレスリリースすることにより、報道機関からニュースや新聞記事として情報発信してもらうことができた。</p> <p>→ 引き続き報道機関への情報提供を行い、あらゆるチャンネルを活用して情報発信の強化に努める。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 運動イベント登録・情報発信機能を有する新健康アプリ「あるとっく」の利用者拡大を図る。</p> <p>→ 新健康アプリ「あるとっく」の利用者拡大を図るため、健康寿命日本一おおいた創造会議等を活用して情報発信の連携強化に努める。</p>	県民健康増進課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分国際車いすマラソンの開催にあたって、大分合同新聞(主催)や大分放送(共催)等と連携することで、第44回大会に係る様々な情報を県内外に発信した。</p> <p>→ 報道機関と連携し、引き続き大分国際車いすマラソン等をはじめとする障がい者スポーツ関連の情報を県内外に発信する。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 報道機関と連携してスポーツに関する情報発信を行うことができた。</p> <p>→ 引き続き、情報機関との連携を図り、県民にとって魅力的な情報発信を行えるよう努めていきたい。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 国民スポーツ大会や九州ブロック大会開催期間中は、大分県選手団の結果を毎日各報道機関に送信した。</p> <p>→ 今後も引き続き、各報道機関と連携を図り、本県選手の活躍を発信してもらう。</p>	県スポーツ協会

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(2)	行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① スポーツ推進体制の整備	④ 関係機関・団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保		
	② スポーツ関係団体におけるガバナンス向上の取組の推進	⑤ 研究機関・医療機関・大学との連携		
	③ スポーツ関係団体の整備・充実			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① スポーツ振興のための効果的な連携	④ 安心・安全な体制づくりの継続		
	② 関係団体のガバナンス向上	⑤ スポーツを通じた大学や関係団体との連携強化		
	③ 協会運営と財源確保			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分県スポーツ推進審議会	194	③ 大分県スポーツ推進委員協議会研修事業	600
	② チーム大分強化事業	141,425	④ 国際車いすマラソン開催事業	35,000
	② ガバナンス研修会	73	⑤ 地域のスポーツライフサポート事業	8,975

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 体育保健課、企画振興部、福祉保健部が連携し、スポーツ推進計画の進捗状況を共有して、大分県スポーツ推進審議会にて報告するなど、部局連携を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、協会役員や予算・決算等の各種データをホームページ上に公開した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブのJSPO登録制度や会計処理に関する研修など、県総合型地域スポーツクラブ連絡会で、登録団体に指導・助言をした。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 公正かつ適正な経理処理等を行うために、補助金取り扱いに向けた事業説明会を年1回開催。また、補助金の不正利用があり、再発防止のため、臨時説明会を開催し、補助金利用に関する事務処理の徹底を図った。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 加盟団体、スポーツ少年団指導者、本会役員を対象に、ガバナンス研修会を開催した(令和7年10月25日)。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の運営体制強化に向け、県職員が協会事務局に参画した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県内の高等学校、中学校、地域クラブ、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の指導者を対象に、安心安全な指導体制の確立やスポーツマンシップに関する講習を実施し、指導者の資質向上に取り組んだ。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分県スポーツ推進委員協議会と連携し、1～4年目のスポーツ推進委員を中心に初任者研修を実施した。第64回大分県スポーツ推進委員研究大会を開催し、座学と実技研修を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 年度当初に、加盟競技団体理事長・事務局長や、スポーツ少年団関係団体、医科学関係団体との会議や協議を行った。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 第44回大分国際車いすマラソンの開催にあたり、大会運営に係る主管団体や行政機関(警察等)、ボランティアへの事前説明等を行い、円滑かつ安全・安心な大会運営に努めた。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 大分県スポーツ協会、おおいた広域スポーツセンターと連携し、JSPO公認アシスタントマネージャー養成講習会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 選手強化事業に参加する選手、指導者にスポーツ安全保険への加入を推進している。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 県内大学と連携し、大阪体育大学運動部指導認定プログラムを活用して、大学生を対象に高い倫理観を備えた指導者を養成する、地域スポーツ指導者養成講習会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 部局が所管する審議会や諸会議に、担当職員が参加し、情報共有など連携ができています。</p> <p>→ 47都道府県の約9割が、スポーツに関する所管は教育委員会から知事部局に移管しているため、今後も連携が必要。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 加盟団体、スポーツ少年団指導者、本会役員を対象に、ガバナンス研修会を開催した(令和7年10月25日)。</p> <p>→ 内容については、毎年タイムリーな話題を提供できるようにしていくと共に、できるだけ多くの関係者が参加できるように、開催日時や場所等についても検討していく。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 補助金の不正利用があり再発防止のため、臨時説明会を開催し、補助金利用に関する事務処理の徹底を図った。</p> <p>→ 各競技団体のガバナンスの強化が課題。事業事務説明会等を活用し、適正な事務処理をお願いしていく。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、協会役員や予算・決算等の各種データをホームページ上に公開した。</p> <p>→ 大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、引き続き各種データの公表を継続する。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ JSPOの総合型地域スポーツクラブ登録制度に県内31クラブが登録し、連絡会等を通じてガバナンス等について共通理解を図った。</p> <p>→ 未登録クラブに、登録制度の趣旨を丁寧に説明し、引き続きJSPO登録を促していく。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 年度当初に、加盟競技団体理事長・事務局長や、スポーツ少年団関係団体、医科学関係団体との会議や協議を行った。</p> <p>→ 今年度より、加盟競技団体の理事長にも集まっていたいただき、年度当初に情報共有を行うことができた。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、協会役員や予算・決算等の各種データをホームページ上に公開した。</p> <p>→ 大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、引き続き各種データの公表を継続する。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブにおいて、地域住民が安全・安心に活動できるように、連絡会等を通じて指導・助言を継続していくことが必要。</p> <p>→ 大分県スポーツ協会と連携し、クラブ訪問を行い、完全管理などの体制を確認していく。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 選手強化事業に参加する選手、指導者にスポーツ安全保険への加入を推進している。</p> <p>→ 全ての競技団体が加入をしておらず、競技によっては独自の保険に加入している。保険の補償内容が十分であるか確認が必要。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 第44回大分国際車いすマラソンの開催にあたり、大会運営に係る主管団体や行政機関(警察等)、ボランティアへの事前説明等を行い、円滑かつ安全・安心な大会運営に努めた。</p> <p>→ 大分国際車いすマラソンや、障がい者スポーツ大会の反省事項を次年度の大会運営に反映することで、障がい者が安心してスポーツ取り組むことができる体制を確保する。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 3大学の大学生60名が、地域スポーツ指導者養成講習会を受講し、51名の地域スポーツ指導者を認定できた。</p> <p>→ 次年度に向けて、大学を訪問し講習会を周知連携することで、さらなる大学生指導者を養成していく。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	県民健康増進課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(3)	企業におけるスポーツ活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① スポーツの推進に向けた企業との連携・協力			
	② 地域貢献活動の推進			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① トップアスリート就職支援事業の周知			
	① 企業や地域における障がい者スポーツの普及啓発			
	② 企業や地域における障がい者スポーツの普及啓発			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 持続的なスポーツ環境構築によるパラスポーツ普及促進	1,700	② 国際車いすマラソン開催事業	35,000
	① 地域のスポーツライフサポート事業	14,789	② チーム大分強化事業	141,425
	① チーム大分強化事業	141,425		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

具体的な取組①	障害者社会参加推進室
○ 地域での障がい者スポーツ体験会を行うにあたり、県内企業等に勤める障がい者スポーツ選手らを指導者として県内各会場へ派遣した。	
具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 子育て・働く世代のスポーツライフサポート事業で、総合型地域スポーツクラブと地域企業が連携し、教室やスポーツイベントを実施した。	
具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ 競技力向上に向けたトップアスリートの就職支援に、本県の経済団体と連携して取り組んだ。2名のアスリートの就職内定が決まった。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 年間を通して企業訪問をおこない、賛助会員となっていただくよう協力を依頼をした。	
具体的な取組②	県民健康増進課
○ 健康経営事業所の拡大を図ることで職場ぐるみで体を動かす取組を促進するとともに、新健康アプリ「あるとつく」を活用し、職場対抗で歩数の増加を促す取組を行った。	
具体的な取組②	障害者社会参加推進室
○ 第44回大分国際車いすマラソンでは、大会史上最多となる59社の企業・団体から協賛を獲得。また、大分駅や大分市中心部の商店街との連携を図り、サイネージ等を活用したり、大分空港や杉乃井ホテル等で大会の動画を流すなど、効果的な情報発信を行った。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ アスナビ交流会を開催し、アスリート社員を抱える企業や、今後採用を検討している企業に対し、本県におけるアスリートの就職状況や採用後の状況共有を行い、企業の地域貢献活動や企業のCSR活動の推進を図った。	

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 地域での障がい者スポーツ体験会を行うにあたり、県内企業等に勤める障がい者スポーツ選手らを指導者として県内各会場へ派遣した。</p> <p>→ 引き続き県内企業に勤める障がい者アスリートらを講師として派遣し、身近な地域で障がい者スポーツに取り組める環境づくりを進める。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 総合型クラブと地域企業が連携し、教室やスポーツイベントを実施することができたが、事業終了後に継続・発展させていくことが課題。</p> <p>→ 市町村に協力を依頼するとともに、総合型クラブと協議し、助言を行う。また、クラブ連絡会などの機会実践報告等、周知を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 競技力向上に向けたトップアスリートの就職支援に、本県の経済団体と連携して取り組んだ。2名のアスリートの就職内定が決まった。</p> <p>→ OCアスナビを活用した選手と、大分アスナビの選手が一人ずつ採用となった。就職支援活動について更なる周知を行い、必要な選手に情報が確実に伝わるように広報活動を推進する。</p>	<p>体育保健課/競技力向上</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 年間を通して企業訪問をおこない、賛助会員となっていただくよう協力依頼をした。</p> <p>→ 賛助会費は、令和7年12月現在940万円と、目標の1千万円に近づいており、今後も引き続き、企業訪問を重ねていく。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 令和7年12月末時点での登録健康経営事業所は2,665所あり、登録拡大を図るとともに、新健康アプリ「あるとっく」を活用した職場対抗戦の参加者数の更なる増加が課題。</p> <p>→ 健康経営事業所と連携し、新健康アプリ「あるとっく」の利用者拡大を図るとともに、アプリの機能を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。</p>	<p>県民健康増進課</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 第44回大分国際車いすマラソンでは、大会史上最多となる59社の企業・団体から協賛を獲得。また、大分駅や大分市中心部の商店街との連携を図り、サイネージ等を活用したり、大分空港や杉乃井ホテル等で大会の動画を流すなど、効果的な情報発信を行った。</p> <p>→ 障がい者スポーツへの理解や社会貢献に意欲ある企業と連携し、大分国際車いすマラソンの大会運営を行う。また、引き続き多くの県民に周知ができるよう、大分駅や商店街との連携を強化する。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ アスナビ交流会を開催し、アスリート社員を抱える企業や、今後採用を検討している企業に対し、本県におけるアスリートの就職状況や採用後の状況について共有することにより、企業のCSR活動や地域貢献活動の推進を図った。</p> <p>→ 採用企業や採用検討企業の活動を推進できるよう、JOCアスナビのキャリアディレクターと連携し、最新の情報の共有や個別の選手対応も含め企業活動を進めやすい環境づくりを図る。</p>	<p>体育保健課/競技力向上</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組みの充実		
項目別テーマ	(4)	スポーツに関する顕彰制度の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 顕彰制度の充実			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 支援・表彰対象選手の確保			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① スポーツ協会表彰式	1,141		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○障がい者スポーツの功労者及び前年度に国際大会や全国規模の大会で優秀な成績を収めた選手を表彰した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○令和7年度、生涯スポーツ功労者文部科学大臣表彰1名、生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰2団体、スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰1名、全国スポーツ推進委員連合功労者表彰3名、全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰1団体、30年勤続スポーツ推進委員表彰5名、九州地区スポーツ推進委員功労者表彰7名、大分県スポーツ推進委員功労者・退任功労者表彰17名の生涯スポーツ関係者・団体を表彰した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○本県スポーツの振興に長年貢献していただいた方を、国の表彰制度に積極的に推薦した。また県民表彰制度を活用して、全国優勝した選手を年3回表彰した。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組①</p> <p>○スポーツ協会表彰を実施した。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	障害者社会参加推進室
○これまで、「令和2年度 9名、令和3年度 12名1団体、令和4年度 15名1団体、令和5年度 16名1団体、令和6年度 28名、令和7年度 28名」に表彰を実施している。	
→今後も、各種大会で優秀な成績を収めた選手や功労者を顕彰していく。	
具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○近年、生涯スポーツ功労者、スポーツ推進委員功労者ともに、市町村や関係団体からの推薦者が減っており、本県の推薦枠を満たさない表彰が出てきているため、市町村に対して、若手40～60歳の若手指導者や女性指導者を推薦してもらうよう働きかけたい。	
→今後も、県民の多様なスポーツ活動の励みとなるよう、表彰の内容や顕彰制度の充実に努める必要がある。また、各地域で活躍している方を積極的に推薦を行ってもらうよう市町村や関係団体に対して助言を行っていく。	
具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○本県スポーツの振興に長年貢献していただいた方を、国の表彰制度に積極的に推薦した。また県民表彰制度を活用して、全国優勝した選手を年3回表彰した。	
→引き続き、国の表彰制度を積極的に活用するよう候補者の潜在リスト作成を進めたい。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○スポーツ協会表彰を実施した。	
→加盟団体での功績を表彰する「スポーツ功労賞」については、昨年度よりも多くの方を表彰することができた。今後も引き続き、多くの方を表彰できるよう、加盟団体に働きかけていく。	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(1)	競技力向上のための組織の整備・充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 競技団体や学校体育団体等の活性化			
	② 年代や競技の枠を越えた連携体制の整備			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 競技団体のガバナンス強化に向けた事業事務説明			
	② 競技団体における選手育成体制の強化			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① チーム大分強化事業	141,425		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 競技団体のガバナンス強化に向けた事業事務説明会(3月実施予定)を計画している。補助金の取り扱いの適正化を徹底するために、事業報告書に関する補足説明の添付を徹底し、確実な補助金事業の実施を推進した。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 年度当初に、強化指定校(高校)、強化指定団体(企業・クラブチーム等)、強化指定選手(個人)を委嘱し、競技力向上に努めた。また、競技団体の要望等により、必要に応じて競技用具の整備を行った。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○ ジュニア選手(小・中学生)の育成体制の整備を推進している。県選抜チーム等の取り組みとも連携して、競技団体が年間のジュニア選手育成計画を作成し、競技力向上対策本部に提出するように指導している。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 各競技県選抜チームの取組において、世代に適した指導法や育成体制の整備に対して支援を行った。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
<p>○ 競技団体のガバナンス強化に向けた事業事務説明会(3月実施予定)を計画している。補助金の取り扱いの適正化を徹底するために、事業報告書に関する補足説明の添付を徹底し、確実な補助金事業の実施を推進した。</p>	
<p>→ 今後とも競技団体を中心としたガバナンスの強化を図ることで、本県の補助金事業を円滑に進めるようにしていく。</p>	
具体的な取組①	県スポーツ協会
<p>○ 年度当初に、強化指定校(高校)、強化指定団体(企業・クラブチーム等)、強化指定選手(個人)を委嘱し、競技力向上に努めた。また、競技団体の要望等により、必要に応じて競技用具の整備を行った。</p>	
<p>→ 県競技力向上対策本部とも連携し、今後も効果的な支援を続けていく。</p>	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
<p>○ ジュニア選手(小・中学生)の育成体制の整備を推進している。県選抜チーム等の取り組みとも連携して、競技団体が年間のジュニア選手育成計画を作成し、競技力向上対策本部に提出するように指導している。</p>	
<p>→ 今後は選手育成の連携強化について他の競技団体にも横展開していく必要がある。実際に実施している競技団体の事例を参考にしながら取り組めるよう情報提供をすすめる。</p>	
具体的な取組②	県スポーツ協会
<p>○ 各競技県選抜チームの取組において、世代に適した指導法や育成体制の整備に対して支援を行った。</p>	
<p>→ 今後とも国民スポーツ大会出場世代のみならず、ジュニア世代に対しても支援し、中長期的な視点での強化に取り組む。</p>	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(2)	競技力向上に向けた指導体制の充実・強化		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	公認スポーツ指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上			
	②	強化拠点となる学校への適切な指導者の配置			
	③	競技者から指導者への好循環サイクルの構築			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	①	計画的な指導者資格の取得を競技団体に促す	③	指導できる人材の確保	
	②	指導者の適正配置			
	②	競技別強化担当者会議			
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	チーム大分強化事業	141,425	③ チーム大分強化事業	141,425
	②	スポーツ振興基金事業	17,119		
	②	競技別強化担当者会議	28		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

具体的な取組①	<p>○ 競技団体指導者が公認スポーツ指導者資格の取得にかかる、諸経費(宿泊費及び交通費)に対して補助金を活用できるよう支援した。</p>	体育保健課/競技力向上
具体的な取組①	<p>○ 指導者養成および指導者更新研修を実施した。</p>	県スポーツ協会
具体的な取組②	<p>○ スポーツ協会が実施した、競技団体へのヒアリングから得た情報を体育保健課に情報提供してもらい、協議を実施した。</p>	体育保健課/競技力向上
具体的な取組②	<p>○ 競技団体とのヒアリングをおこない、指導者の状況や適性配置を協議した。</p>	県スポーツ協会
具体的な取組③	<p>○ 競技団体の普及活動において、現役選手がジュニア選手(小中学生)を対象に、指導する機会を設けるよう働きかけた。ジュニア選手にとっては、現役選手の動きを見て学ぶ機会となり、また現役選手にとっても指導を体験することで、引退後に指導者への道を選択する機会となるよう取り組んでいる。</p>	体育保健課/競技力向上
具体的な取組③	<p>○ 競技団体とのヒアリングをおこない、選手の状況や引退後の希望等の情報を集約した。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
人口1万人当たりの公認指導者資格登録数	人	R2	18.8	23.6	37.0	156.8	◎達成	R12	23.6	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ 競技団体指導者が公認スポーツ指導者資格の取得にかかる、諸経費(宿泊費及び交通費)に対して補助金を活用できるよう支援した。	
→ ヒアリングなどを通じて、指導者資格取得の計画を競技団体と情報共有をしながら資格取得を促す。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 指導者養成および指導者更新研修を実施した。	
→ 指導者更新研修として、公認スポーツ指導者研修会を2回実施。また、スタートコーチ(ジュニア・ユース)の養成に取り組んだ。競技団体においても、5競技団体で資格取得の養成講習会を実施した。引き続き、各種研修の充実により、公認スポーツ指導者の資格取得による指導者養成と資質向上に取り組んでいく必要がある。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ スポーツ協会が実施した、競技団体へのヒアリングから得た情報を体育保健課に情報提供してもらい、協議を実施した。	
→ 現状として、大分県スポーツ協会が実施する競技団体へのヒアリング資料を基に協議する以外の方法が無い。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 競技団体とのヒアリングをおこない、指導者の状況や適性配置を協議した。	
→ 今後も引き続き競技団体と連携を図り、状況把握に努める。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 競技団体の普及活動において、現役選手がジュニア選手(小中学生)を対象に、指導する機会を設けるよう働きかけた。ジュニア選手にとっては、現役選手の動きを見て学ぶ機会となり、また現役選手にとっても指導を体験することで、引退後に指導者への道を選択する機会となるよう取り組んでいる。	
→ 指導者確保に向けては、普及イベントのサポートや大会審判への参加からはじめるなど、競技団体の活動に触れる機会を設定することが必要である。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ 競技団体とのヒアリングをおこない、選手の状況や引退後の希望等の情報を集約した。	
→ 今後も引き続き競技団体と連携を図り、状況把握に努める。	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(3)	競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大			
	②	関係団体と連携した一貫指導体制の構築			
	③	関係団体と連携した強化事業の充実			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	①	競技団体のジュニア普及に向けた広報			
	②	一貫指導体制の構築に向けた指導者確保			
	③	関係団体との連携			
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	チーム大分強化事業	141,425	③ チーム大分強化事業	141,425
	①	ジュニア選手発掘支援事業	2,550		
	②	スポーツ振興基金事業	17,119		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ジュニアアスリート発掘事業として、県内で30名のジュニアアスリートを認定し、競技体験の機会を提供した。また、スポーツ振興基金から各地域のスポーツ協会に対し事業補助を行い、地域の特色を活かしたスポーツ振興を図った。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組①</p> <p>○ジュニア選手の発掘に向けた事業の実施希望を、加盟団体や総合型地域スポーツクラブに対して行った。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○競技団体が県選抜選手の育成について年間指導計画を作成するよう指導し、計画的に選手育成を実施した。特に中学年代における計画的な選手育成により、故障やオーバートレーニングを防ぐよう取り組んでいる。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○競技団体とのヒアリングを行うことにより、指導体制の充実に向けて協議した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○大分県スポーツ協会と連携し、全国で活躍できる可能性のある団体や個人に対して、大会や強化合宿、県外遠征等の経費に対して補助し、効果的な選手育成を図った。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○県競技力向上対策本部との連携や、競技団体とのヒアリングを行うことにより、拠点チームや団体、個人を把握した上で強化事業を実施した。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
国際大会出場者数	人	R1	32.0	60.0	71	118.3	◎達成	R12	60.0	競技力向上対策班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	<div style="text-align: right; font-size: small;">体育保健課/競技力向上</div> <p>○ ジュニアアスリート発掘事業として、県内で30名のジュニアアスリートを認定し、競技体験の機会を提供した。また、スポーツ振興基金から各地域のスポーツ協会に対し事業補助を行い、地域の特色を活かしたスポーツ振興を図った。</p> <p>→ ジュニアアスリート発掘事業は10年目の実施となり、事業内容も時代に沿った内容にブラッシュアップできている。各地域のスポーツ協会については、計画的な補助金の活用ができるよう、指導助言を継続していく。</p>
具体的な取組①	<div style="text-align: right; font-size: small;">県スポーツ協会</div> <p>○ ジュニア選手の発掘に向けた事業の実施希望を、加盟団体や総合型地域スポーツクラブに対して行った。</p> <p>→ 今年度は11団体に対してジュニア発掘事業の補助を行った。今後も加盟団体や総合型地域スポーツクラブに対して、積極的に事業実施を進めていく。</p>
具体的な取組②	<div style="text-align: right; font-size: small;">体育保健課/競技力向上</div> <p>○ 競技団体が県選抜選手の育成について年間指導計画を作成するよう指導し、計画的に選手育成を実施した。特に中学年代における計画的な選手育成により、故障やオーバートレーニングを防ぐよう取り組んでいる。</p> <p>→ 課題の指導者確保については、競技団体と連携しながら、指導者の掘り起こしに取り組んでいる。しかしながら、課題解消には至っていない。引き続き、競技経験者や審判経験者等を指導者としても活動できるようサポートする。</p>
具体的な取組②	<div style="text-align: right; font-size: small;">県スポーツ協会</div> <p>○ 競技団体とのヒアリングを行うことにより、指導体制の充実に向けて協議した。</p> <p>→ 指導者の確保、育成については、今後も競技団体や県競技力向上対策本部とも連携を取りながら進めていく。</p>
具体的な取組③	<div style="text-align: right; font-size: small;">体育保健課/競技力向上</div> <p>○ 大分県スポーツ協会と連携し、全国で活躍できる可能性のある団体や個人に対して、大会や強化合宿、県外遠征等の経費に対して補助し、効果的な選手育成を図った。</p> <p>→ 競技団体の強化責任者に対して、中央競技団体の競技者育成プログラムの活用を引き続き促していく。競技団体のヒアリングの際に、活用状況を確認する。</p>
具体的な取組③	<div style="text-align: right; font-size: small;">県スポーツ協会</div> <p>○ 県競技力向上対策本部との連携や、競技団体とのヒアリングを行うことにより、拠点チームや団体、個人を把握した上で強化事業を実施した。</p> <p>→ 今後も効果的な支援に繋がるよう、大会結果等を把握していく。</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(4)	競技力向上に必要な諸条件の整備		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① スポーツ医科学の知見等を活用した支援体制の整備			
	② アスリートが継続的に活動できる就職支援			
	③ 広報活動の推進			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 競技団体内にスポーツ医科学担当者を配置			
	② 採用後のアスリートのフォロー体制			
	③ 県外在住アスリートの情報収集			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① チーム大分強化事業	141,425	③ -	-
	① 医科学研修講座	319		
	② スポーツ振興基金事業	17,119		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ スポーツドクターやトレーナーを積極的に活用している。現時点では、競技団体内にスポーツ医科学委員会の設置は難しい状況にあるが、担当者及び責任者の配置について推進するよう取り組んでいる。</p>	<p>体育保健課/競技力向上</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 各競技団体の医科学担当者や帯同トレーナーに対して、研修会を実施した。国スポ選手を対象としたアンチ・ドーピング研修会を実施した。優秀指定選手を対象とした、メディカルチェック事業を実施した。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ トップアスリート就職支援事業を実施し、2名の新規採用者が決定した。</p>	<p>体育保健課/競技力向上</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 年間を通しておこなっている企業訪問の中で、選手の情報を企業へ提供するとともに、雇用の協力を依頼した。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県外在住のアスリートが国際大会等に出場する情報を競技団体から収集した。また報道機関にも情報を提供し、選手の活躍を広く県民に広報できるよう取り組んだ。</p>	<p>体育保健課/競技力向上</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ ホームページ、インスタグラムを活用した情報発信を実施した。</p>	<p>県スポーツ協会</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ スポーツドクターやトレーナーを積極的に活用している。現時点では、競技団体内にスポーツ医学委員会の設置は難しい状況にあるが、担当者及び責任者の配置について推進するよう取り組んでいる。	
→ 競技団体の中で、選手育成の活動状況に応じて医学活用に取り組んでいるが、それを統括する医学委員会の設置までは至っていない団体が多い。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 各競技団体の医学担当者や帯同トレーナーに対して、研修会を実施した。国スポ選手を対象としたアンチ・ドーピング研修会を実施した。優秀指定選手を対象とした、メディカルチェック事業を実施した。	
→ 研修会の内容については、毎年タイムリーなものにしていく必要がある。優秀指定選手を対象としたメディカルチェック事業については、事後の結果説明会を充実させることにより、競技力の向上に繋げていきたい。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ トップアスリート就職支援事業を実施し、2名の新規採用者が決定した。	
→ 6月にアスナビ説明会、1月にアスナビ交流会を実施し、採用後の企業・選手に対してのフォローを実施。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 年間を通しておこなっている企業訪問の中で、選手の情報を企業へ提供するとともに、雇用の協力を依頼した。	
→ 県競技力向上対策本部とも連携を取り、大分県へのU・I・Jターンを希望する選手の情報を共有する。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 県外在住のアスリートが国際大会等に出場する情報を競技団体から収集した。また報道機関にも情報を提供し、選手の活躍を広く県民に広報できるよう取り組んだ。	
→ 引き続き、報道機関やSNS等を活用して、タイムリーなアスリートの活躍を広く県民に広報する。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ ホームページ、インスタグラムを活用した情報発信を実施した。	
→ 特にインスタグラムの更新回数を増やすことにより、タイムリーな情報発信を今後も行っていく。	

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	IV	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(1)	国際スポーツ大会等の誘致		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致			
	②	国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ			
	③	キャンプ受入国との継続的な交流の推進			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	①	官民一体となった誘致活動			
	②	市町村や関係団体との連携強化			
	③	市町村や関係団体との連携強化			
関連事業 (令和7年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	おおいたラグビー次世代継承事業	22,759	③ 大分スポーツ地域元気創出事業	67,748
	②	ツール・ド・九州推進事業	74,395		
	②	大分スポーツ地域元気創出事業	67,748		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 令和7年10月に福岡県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県の九州5県で開催した国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」において、大分県では宮崎県とともにこの大会では初となる2県に跨るステージ共同開催を行い、当日は両県合わせて約4.4万人の観戦客があった。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ ラグビーJAPANXVやU20日本代表をはじめ、トップチーム等の合宿が県内各地で実施されている。今年度は、ポルトガル陸上代表が東京で開催された世界陸上の直前キャンプとして大分市内で実施した。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 東京オリパラ2020で受け入れを行ったポルトガル陸上代表が再度大分市内で世界陸上の事前キャンプを行い、キャンプ期間中には地元住民との交流も行った。また、来年度開催予定のアジア競技大会においても、大会事務局のHP等で事前合宿候補地として大分スポーツ公園等を紹介している。</p>	スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p>	<p style="text-align: right;">スポーツ振興課</p> <p>○ ツール・ド・九州2025の開催や、国内外のトップチーム等の合宿や事前キャンプなど国内外のトップレベルのスポーツイベントを継続して誘致できている。</p> <p>→ 関係競技団体、大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して国際スポーツ大会等の誘致活動を行う。</p>
<p>具体的な取組②</p>	<p style="text-align: right;">スポーツ振興課</p> <p>○ ツール・ド・九州など、近隣で行われる国際的なスポーツ大会にあわせて、参加するチームに対して事前キャンプを誘致するなど、取組を広げていく必要がある。</p> <p>→ 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致に取り組む。</p>
<p>具体的な取組③</p>	<p style="text-align: right;">スポーツ振興課</p> <p>○ 事前キャンプ等を受入れた国々との交流に取り組む必要がある。</p> <p>→ 東京オリパラ2020での交流のみならず、ラグビーワールドカップ2019で交流があったウェールズなどとも交流を継続していく。</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	IV	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(2)	スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出	④ スポーツツーリズムの推進		
	② 市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大			
	③ まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現			
R6点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 市町村や関係団体との連携強化	④ ホームページの認知度向上		
	② 市町村や関係団体との連携強化			
	③ 円滑な試合運営の確保			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分スポーツ地域元気づくり事業	67,748	④ 大分スポーツ地域元気づくり事業	67,748
	② 大分スポーツ地域元気づくり事業	67,748		
	③ 大分スポーツ地域元気づくり事業	67,748		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 開催3年目となる国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」を実施した。今大会では、これまで参加してきた福岡県・熊本県・大分県の3県に加え、新たに長崎県及び宮崎県が参加し、大分県はこの大会では初となる宮崎県との2県に跨るステージ共同開催に挑戦した。延岡-佐伯間の日豊海岸沿いを走るコースとし、2県合計で約4万4千人の観戦客があった。また、県や市町村等で組織する大分県スポーツ合宿誘致推進協議会において、トップチーム等の合宿誘致に取り組み、世界陸上に出場するポルトガル陸上選手団をはじめ、多くの強豪チーム等が県内で合宿を実施した。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で合宿を受入れたラグビー、野球、陸上、バレーボール、卓球、ソフトボールなどのチームと地域住民との交流事業を行った。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分トリニータや横浜キヤノンイーグルスのホームゲームでは、交通渋滞を避けるため、県警など関係機関と連携し渋滞対策を行った。また、大分スポーツ公園東駐車場をアーバンスポーツエリアとして開放し新たな集客に努めている。さらに、今年度から地域活性化に資するスポーツ施設のあり方についても検討を始めたところ。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組④</p> <p>○ スポーツ施設や宿泊施設を一元的に発信するWebサイト「スポ泊！おおいた」を運用し、スポーツツーリズムを推進した。また、ツール・ド・九州2025を通じてレースの舞台となった佐伯市の情報発信を行った。</p>	スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
合宿等受入人数	人	R1	63,172	90,000	68,762	76.4	× 著しく不十分	R12	90,000	スポーツ振興課

※R6実績で算出

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 令和7年度に続きツール・ド・九州は令和8年度にも開催される。来年度は大分県は熊本県との共同開催を予定しているところ。また、トップレベルのスポーツ大会や合宿の誘致にあわせて県民がスポーツに触れる機会を増やしていく必要がある。</p> <p>→ 競技団体等と連携して国際大会等のスポーツイベントの誘致に向けて取り組んでいく。また、大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、あらゆる機会を活用して合宿誘致したトップレベルのチームと地域住民等との交流を推進する。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 市町村ごとの特色にあわせたスポーツ合宿の誘致に取り組むとともに、誘致したトップレベルのチームと地域住民との交流機会を増やすことが必要である。</p> <p>→ 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して誘致活動を行い、住民等との交流を推進する。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分トリニータや横浜キヤノンイーグルスなどと連携して、交通渋滞等が発生しないよう、情報共有を図っている。また、地域活性化に資するスポーツ施設のあり方については今年度から検討を始めたところ。</p> <p>→ 引き続き、チームや県警等の関係機関と情報共有を図っていく。また、現在、県内スポーツ施設の現況調査を行っており、今年度中に調査結果を取りまとめた上で、今後のスポーツ施設のあり方の検討につなげていく。</p>	<p>スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ SNS等を活用したターゲティング広告を行い、幅広く周知していく。</p> <p>→ 県内でのトップチーム等による合宿をさらに誘致していくために、今年度サイトをリニューアルし、地元の食事や温泉情報などを新たに追加することで、スポーツイベントやスポーツ合宿にも適した大分県の多様な魅力を発信する予定。</p>	<p>スポーツ振興課</p>

3 項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	IV	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(3)	ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① ラグビー文化の定着			
	② 大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進			
	③ 世界トップクラスの国際試合等の誘致			
R6点検・評価で整理した課題・改善点	① ラグビーワールドカップ2019開催のレガシーの次世代への継承			
	② ラグビーワールドカップ2019開催のレガシーの次世代への継承			
	③ -			
関連事業 (令和7年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① おおいたラグビー次世代継承事業	22,759		
	② おおいたラグビー次世代継承事業	22,759		
	③ -	-		

2. 令和7年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 幼稚園・小学校等を対象としたタグラグビー教室や、未経験者を対象としたラグビー体験会を開催したほか、ラグビー日本代表HCエディー・ジョーンズ氏を大分市内に招き、指導者向けの講習や子どもたちへのクリニックを行い、世界レベルの指導を受ける機会も創出した。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分で試合を行ったウェールズとはラグビーに関わらず、大分県立美術館がウェールズ国立博物館とMOUを締結するなどの文化交流を継続している。</p>	スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分県をセカンダリーホストエリアとする横浜キャノンイーグルスをはじめラグビーリーグワンDIVISION1のチームには、南アフリカやニュージーランドなどの現役代表選手が複数在籍しており、大分県で開催されるホームゲームでは、県民が世界トップレベルのプレーを間近で見られる機会を提供することができている。</p>	スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R7年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">具体的な取組①</div>	<p>○ラグビー文化の定着に向けて、これまでどおり幼稚園児や小学生など子どもたちがラグビーに触れる機会を創出するとともに、大分県ラグビー協会や横浜キャノンイーグルスと連携し県内のラグビー熱を高める取組を進めていく必要がある。</p> <p>→タグラグビー教室やラグビー体験会、大分で合宿するトップチームとの交流に加え、県内ラグビー界全体の機運や結束を高めるような交流会を開催することにより、ラグビー人口の拡大につなげていく。</p>	スポーツ振興課
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">具体的な取組②</div>	<p>○ワールドカップで来県した国や地域との交流を継続していく必要がある。</p> <p>→今後も、ラグビーワールドカップ2019の開催実績を活かし、日本代表戦の大分開催を目指す。</p>	スポーツ振興課
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">具体的な取組③</div>	<p>○今後も、ラグビーワールドカップ2019の開催実績を活かし、日本代表戦の大分開催を目指す。</p> <p>→日本代表戦の大分開催に向けて、(公財)日本ラグビーフットボール協会等の関係機関と連携して取り組んでいく。</p>	スポーツ振興室